

< 施設別集計 >

名古屋大学医学部附属病院

当院について

名大病院は、大学医学部の教育の場であるとともに、がん医療をはじめ広い領域にわたって高度先進医療を担う特定機能病院です。平成 31 年より医療機能評価の国際基準である JCI (Joint Commission International) の認証を受けています。JCI 認証を受けた施設は国内ではまだ 30 施設程度であるうえ、国立大学では名大病院が唯一です。令和 6 年の更新審査にも合格しました。これは、よりよい医療を提供しようというスタッフ一人ひとりの高い意識と努力の成果です。平成 28 年には臨床研究中核病院にも承認されています。臨床研究中核病院は臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う病院として厚生労働省が承認するもので、中部地区では名大病院が唯一です。このような外部からの高い評価は、名大病院の 150 年の歴史のなかで培われた地域の方々からの信頼の裏付けと言えます。がん医療では、名大病院は地域がん診療連携拠点病院・小児がん拠点病院に指定されています。また、全国 13 のがんゲノム医療中核拠点病院の一つとして、最先端のがんゲノム医療を提供しています。患者申出療養制度にも積極的に取り組んでおり、これまでに 7 つの患者申出療養を行い、そのうち 5 つは名大病院が申出を行いました。人材育成では、令和 5 年度より始まった文科省事業「がんプロ」では、名古屋大学を含む東海地域の 7 大学が連携してがん専門医療人材の養成に取り組んでいます。研究では、令和 6 年から患者還元を目的にした全ゲノム解析を開始しており、近い将来の臨床応用を目指しています。そして、名大病院はあらゆる診療科とその専門医がそろった総合病院です。どのようなリスクや合併症があっても、またどのような副作用が起きても適切に対応しながら最新のがん医療を提供できることは大きな強みです。

名古屋大学医学部附属病院

病院長 丸山 彰一

医療機関名	名古屋大学医学部附属病院
-------	--------------

基本情報

所在地	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
病床数	1,080
	うち一般病床 1,030 療養病床 0 特別療養環境室の病床 217
拠点指定日	2007.1.31
対象データ期間	2023.1.1～2023.12.31 (2023年診断症例)
院内がん登録件数	3,908 件
平均在院日数	11.5 日
入院患者延べ数	307,771 人
外来患者延べ数	514,377 人
「院内がん登録実務研修」修了者	中級者1名、初級者1名 (2024年4月時点)
診療科	血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、精神科、親と子どもの心療科、小児科、放射線科、老年内科、脳神経内科、総合診療科、救急科、血管外科、移植外科、消化器・腫瘍外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、リウマチ科、手の外科、産科婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、形成外科、小児外科、リハビリテーション科 (2024年4月時点)

担当医療圏
名古屋・尾張中部医療圏

担当医療圏内の患者住所の割合
41.6 %

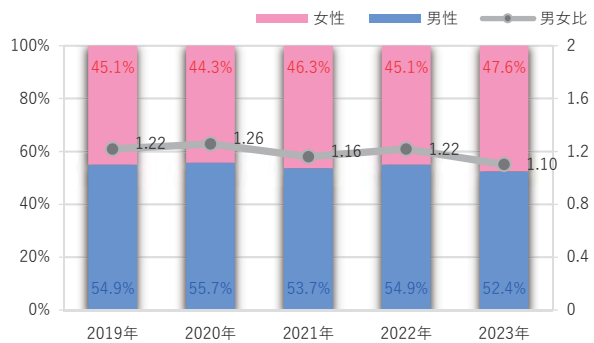
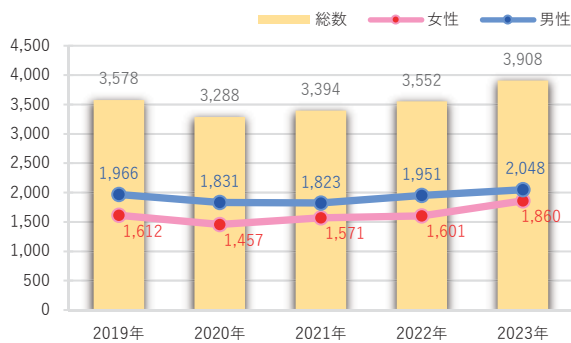
県内担当医療圏外の患者住所の割合
40.5 %

県外の患者住所の割合
17.9 %

1. 登録数の年次推移と部位別登録数

■ 1-1. 登録数 男女別

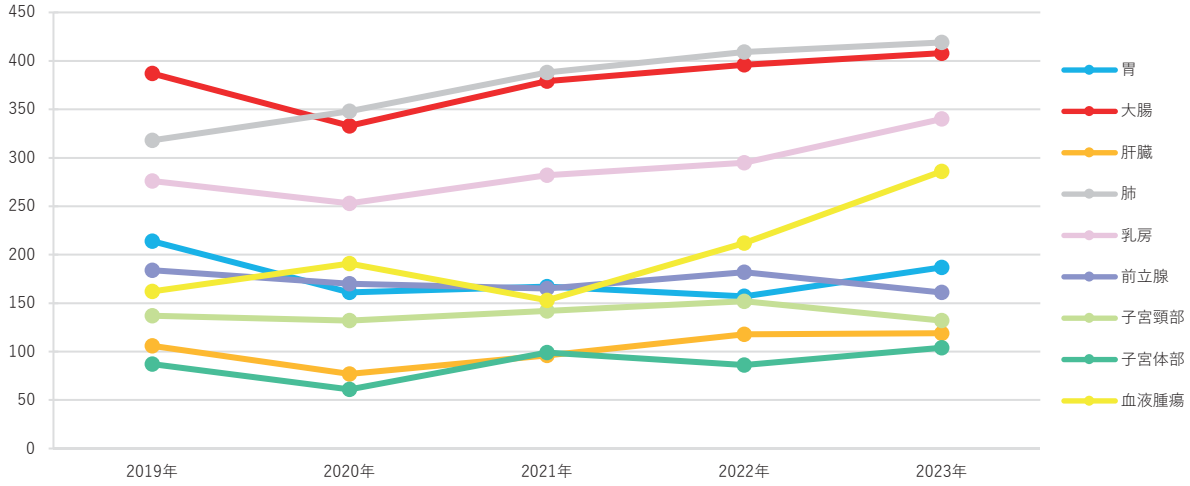
診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
【悪性腫瘍のみ】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	3,253		3,006		3,105		3,244		3,605	
男性	1,814	(55.8%)	1,696	(56.4%)	1,694	(54.6%)	1,787	(55.1%)	1,918	(53.2%)
女性	1,439	(44.2%)	1,310	(43.6%)	1,411	(45.4%)	1,457	(44.9%)	1,687	(46.8%)
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	3,578		3,288		3,394		3,552		3,908	
男性	1,966	(54.9%)	1,831	(55.7%)	1,823	(53.7%)	1,951	(54.9%)	2,048	(52.4%)
女性	1,612	(45.1%)	1,457	(44.3%)	1,571	(46.3%)	1,601	(45.1%)	1,860	(47.6%)
男女比	1.22		1.26		1.16		1.22		1.10	



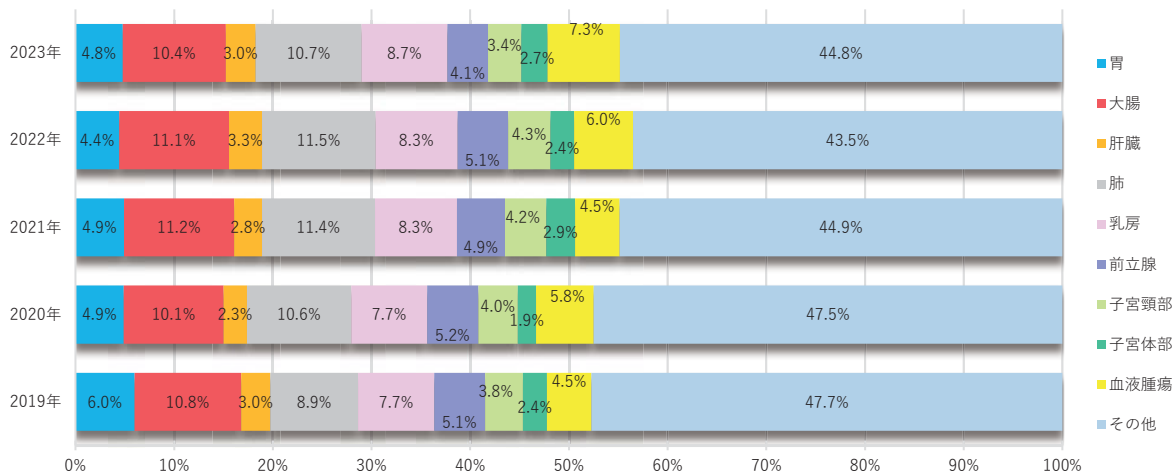
■ 1-2. 登録数 部位別

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
部位	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔咽喉	157	(4.4%)	136	(4.1%)	133	(3.9%)	138	(3.9%)	171	(4.4%)
食道	161	(4.5%)	156	(4.7%)	167	(4.9%)	136	(3.8%)	161	(4.1%)
胃	214	(6.0%)	161	(4.9%)	167	(4.9%)	157	(4.4%)	187	(4.8%)
結腸	266	(7.4%)	217	(6.6%)	229	(6.7%)	246	(6.9%)	244	(6.2%)
直腸	121	(3.4%)	116	(3.5%)	150	(4.4%)	150	(4.2%)	164	(4.2%)
肝臓	106	(3.0%)	77	(2.3%)	96	(2.8%)	118	(3.3%)	119	(3.0%)
胆嚢胆管	135	(3.8%)	122	(3.7%)	112	(3.3%)	108	(3.0%)	136	(3.5%)
膵臓	223	(6.2%)	186	(5.7%)	151	(4.4%)	164	(4.6%)	180	(4.6%)
喉頭	32	(0.9%)	16	(0.5%)	12	(0.4%)	18	(0.5%)	13	(0.3%)
肺	318	(8.9%)	348	(10.6%)	388	(11.4%)	409	(11.5%)	419	(10.7%)
骨軟部	57	(1.6%)	51	(1.6%)	61	(1.8%)	61	(1.7%)	78	(2.0%)
皮膚	146	(4.1%)	142	(4.3%)	133	(3.9%)	136	(3.8%)	162	(4.1%)
乳房	276	(7.7%)	253	(7.7%)	282	(8.3%)	295	(8.3%)	340	(8.7%)
子宮頸部	137	(3.8%)	132	(4.0%)	142	(4.2%)	152	(4.3%)	132	(3.4%)
子宮体部	87	(2.4%)	61	(1.9%)	99	(2.9%)	86	(2.4%)	104	(2.7%)
子宮	0	--	0	--	0	--	0	--	(1~3)	--
卵巣	61	(1.7%)	69	(2.1%)	53	(1.6%)	73	(2.1%)	77	(2.0%)
前立腺	184	(5.1%)	170	(5.2%)	165	(4.9%)	182	(5.1%)	161	(4.1%)
膀胱	56	(1.6%)	66	(2.0%)	57	(1.7%)	61	(1.7%)	55	(1.4%)
腎尿路	123	(3.4%)	128	(3.9%)	102	(3.0%)	105	(3.0%)	91	(2.3%)
脳神経	203	(5.7%)	178	(5.4%)	234	(6.9%)	208	(5.9%)	266	(6.8%)
甲状腺	151	(4.2%)	102	(3.1%)	107	(3.2%)	131	(3.7%)	133	(3.4%)
悪性リンパ腫	102	(2.9%)	110	(3.3%)	83	(2.4%)	133	(3.7%)	181	(4.6%)
多発性骨髄腫	(7~9)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	10	(0.3%)	12	(0.3%)
白血病	32	(0.9%)	45	(1.4%)	38	(1.1%)	37	(1.0%)	61	(1.6%)
他の造血器腫瘍	21	(0.6%)	27	(0.8%)	26	(0.8%)	32	(0.9%)	32	(0.8%)
上記以外	202	(5.6%)	210	(6.4%)	201	(5.9%)	206	(5.8%)	228	(5.8%)
合計	3,578		3,288		3,394		3,552		3,908	

■ 1-3. 登録数の部位別の年次推移

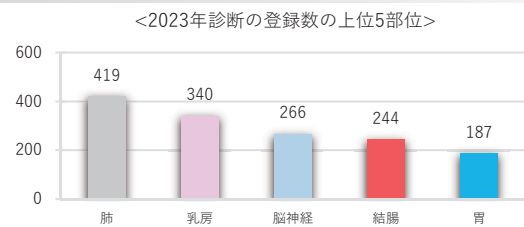


■ 1-4. 登録数の部位別の割合



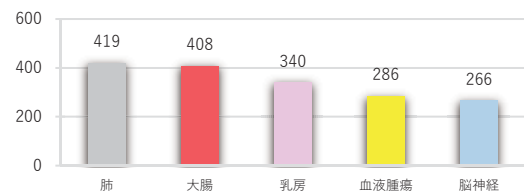
■ 1-5. 登録数の上位5部位

診断年	2022年		2023年	
	順位	部位名 件数	順位	部位名 件数
	1	肺 409	1	肺 419
	2	乳房 295	2	乳房 340
	3	結腸 246	3	脳神経 266
	4	脳神経 208	4	結腸 244
	5	前立腺 182	5	胃 187



<参考> 以下は、直腸・結腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の造血器腫瘍の合計を『血液腫瘍』とした場合での順位

診断年	2022年		2023年	
	順位	部位名 件数	順位	部位名 件数
	1	肺 409	1	肺 419
	2	大腸 396	2	大腸 408
	3	乳房 295	3	乳房 340
	4	子宮 238	4	血液腫瘍 286
	5	血液腫瘍 212	5	脳神経 266



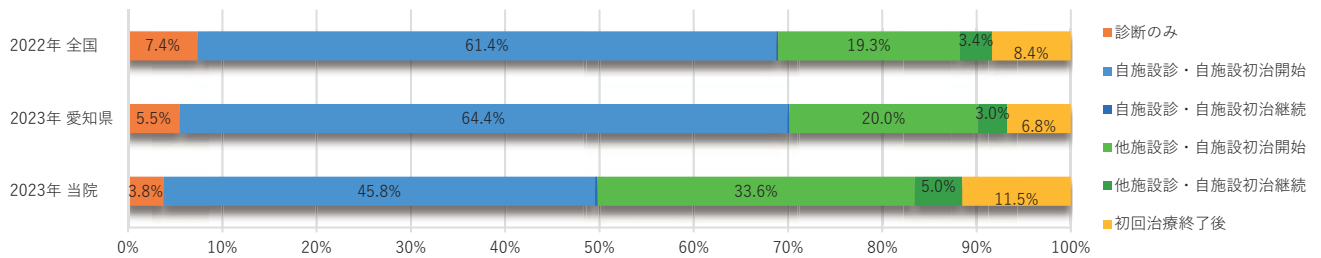
2. 症例区分

2-1. 症例区分別登録数の年次推移

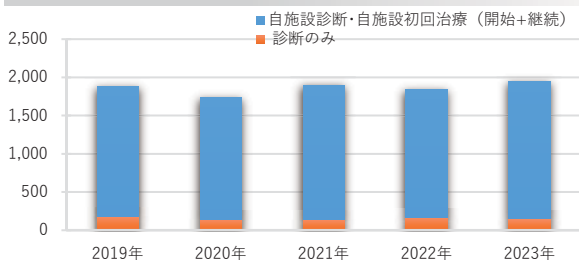
診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
症例区分	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	184	(4.7%)	143	(4.1%)	142	(3.9%)	170	(4.5%)	148	(3.6%)
自施設診断・自施設初回治療 開始	1,698	(43.7%)	1,579	(45.6%)	1,748	(48.5%)	1,668	(44.5%)	1,788	(43.7%)
自施設診断・自施設初回治療 継続	(1~3)	--	10	(0.3%)	10	(0.3%)	(7~9)	--	11	(0.3%)
他施設診断・自施設初回治療 開始	1,166	(30.0%)	1,093	(31.6%)	1,022	(28.4%)	1,155	(30.8%)	1,314	(32.1%)
他施設診断・自施設初回治療 継続	213	(5.5%)	150	(4.3%)	147	(4.1%)	200	(5.3%)	197	(4.8%)
初回治療終了後	314	(8.1%)	313	(9.0%)	325	(9.0%)	352	(9.4%)	450	(11.0%)
その他	305	(7.9%)	176	(5.1%)	210	(5.8%)	197	(5.3%)	187	(4.6%)

2-2. 愛知県全体・全国値との比較

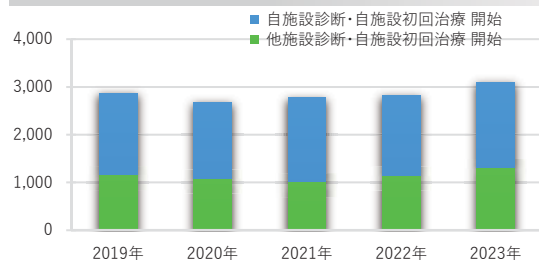
(全国集計値との比較のため 症例区分[その他]を除く件数を100%とした場合の割合)



2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移



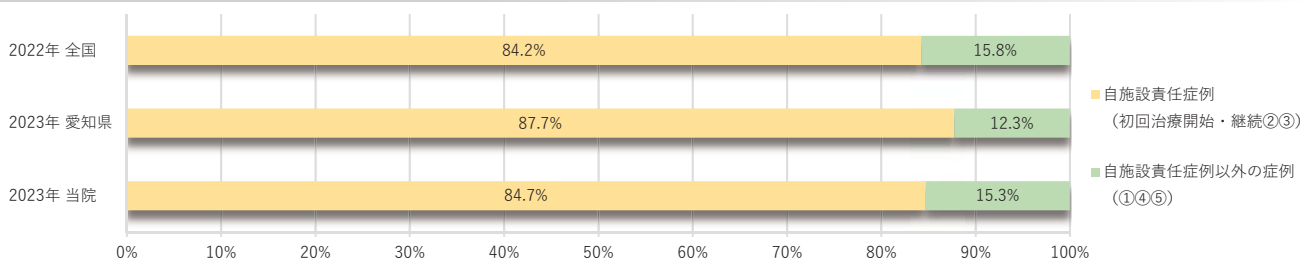
2-5. 2023年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス

診断施設 \ 治療施設	自施設診断	他施設診断
診断のみ①	<診断のみ> 148	<その他> 0
初回治療開始②	<自施設診断・自施設初回治療開始> 1,788	<他施設診断・自施設初回治療開始> 1,314
初回治療継続③	<自施設診断・自施設初回治療継続> 11	<他施設診断・自施設初回治療継続> 197
初回治療終了後④	<初回治療終了後> 0	<初回治療終了後、その他> 450
その他⑤	<その他> 0	<その他> 187

2-6. 自施設責任症例の割合

愛知県全体・全国値との比較

(症例区分[その他]を除く件数を100%とした場合の割合)

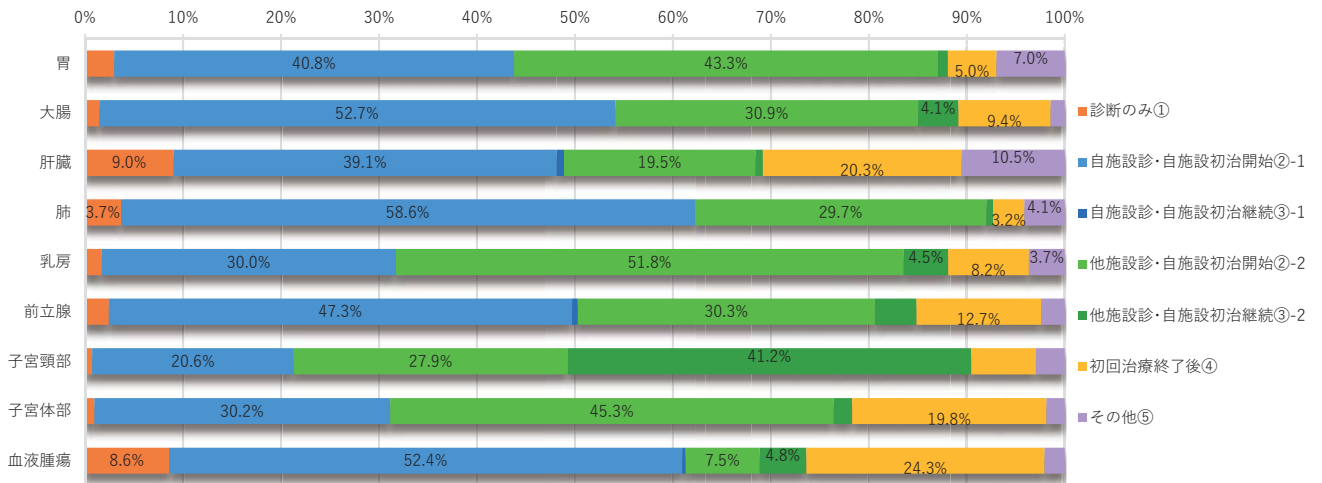


■ 2-7. 部位別

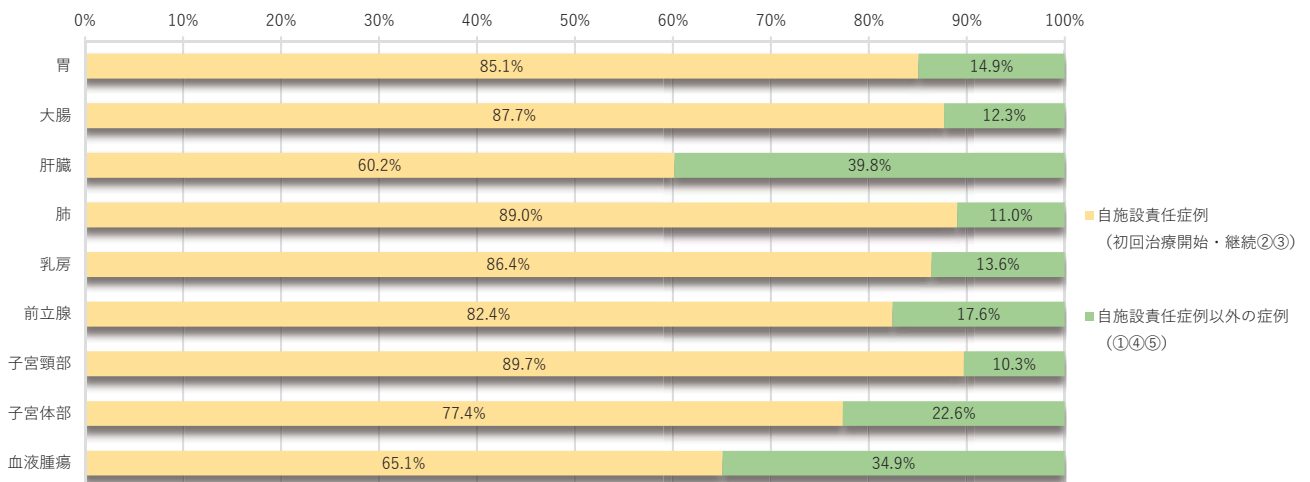
2023年	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
症例区分	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(4~6)	--	(4~6)	--	12	(9.0%)	16	(3.7%)	(4~6)	--
自施設診・自施設初治 開始	82	(40.8%)	218	(52.7%)	52	(39.1%)	256	(58.6%)	106	(30.0%)
自施設診・自施設初治 継続	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--	0	--
他施設診・自施設初治 開始	87	(43.3%)	128	(30.9%)	26	(19.5%)	130	(29.7%)	183	(51.8%)
他施設診・自施設初治 継続	(1~3)	--	17	(4.1%)	(1~3)	--	(1~3)	--	16	(4.5%)
初回治療終了後	10	(5.0%)	39	(9.4%)	27	(20.3%)	14	(3.2%)	29	(8.2%)
その他	14	(7.0%)	(4~6)	--	14	(10.5%)	18	(4.1%)	13	(3.7%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
症例区分	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(4~6)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	25	(8.6%)
自施設診・自施設初治 開始	78	(47.3%)	28	(20.6%)	32	(30.2%)	153	(52.4%)
自施設診・自施設初治 継続	(1~3)	--	0	--	0	--	(1~3)	--
他施設診・自施設初治 開始	50	(30.3%)	38	(27.9%)	48	(45.3%)	22	(7.5%)
他施設診・自施設初治 継続	(7~9)	--	56	(41.2%)	(1~3)	--	14	(4.8%)
初回治療終了後	21	(12.7%)	(7~9)	--	21	(19.8%)	71	(24.3%)
その他	(4~6)	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(4~6)	--

■ 2-8. 部位別の割合 (2023年診断)



■ 2-9. 部位別の自施設責任症例の割合 (2023年診断)

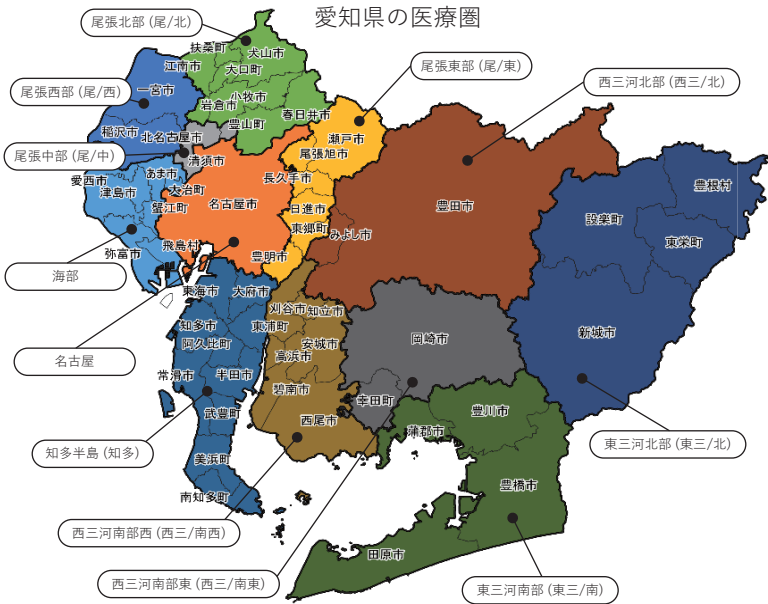


3. 診断時住所別

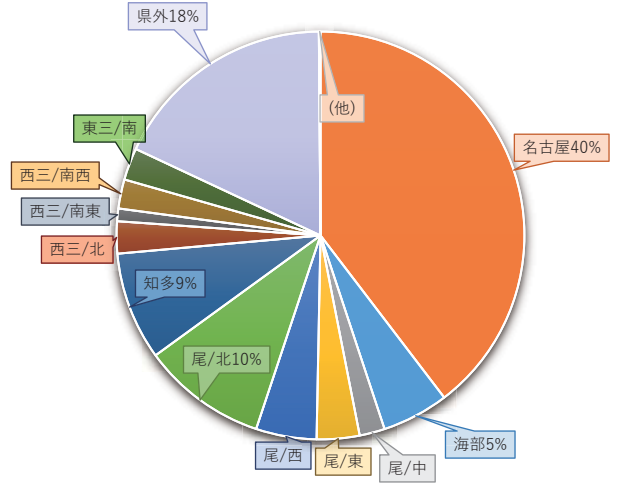
■ 3-1. 診断時住所別登録数

2023年 医療圏	件数	(%)	市郡	件数
名古屋	1,543	(39.6%)	名古屋市	1,543
海部	206	(5.3%)	津島市	54
			愛西市	54
			弥富市	34
			あま市	32
			海部郡 蟹江町、飛鳥村	32
尾張中部	78	(2.0%)	清須市	26
			北名古屋市	44
			西春日井郡 豊山町	(7~9)
尾張東部	132	(3.4%)	瀬戸市	45
			尾張旭市	22
			豊明市	(7~9)
			日進市	32
			長久手市	15
			愛知郡 東郷町	11
尾張西部	187	(4.8%)	一宮市	129
			稲沢市	58
尾張北部	385	(9.9%)	春日井市	197
			小牧市	76
			犬山市	22
			江南市	46
			岩倉市	19
			丹羽郡 大口町、扶桑町	25
知多半島	334	(8.6%)	半田市	90
			知多郡 阿久比町、他	72
			常滑市	36
			東海市	61
			大府市	20
			知多市	55
西三河北部	99	(2.5%)	豊田市	77
			みよし市	22
西三河南部東	39	(1.0%)	岡崎市	34
			額田郡 幸田町	(4~6)
西三河南部西	90	(2.3%)	碧南市	10
			刈谷市	15
			安城市	19
			知立市	10
			高浜市	(4~6)
			西尾市	31
東三河北部	(4~6)	--	新城市	(4~6)
			北設楽郡 設楽町、東栄町、豊根村	(1~3)
東三河南部	99	(2.5%)	豊橋市	68
			豊川市	14
			蒲郡市	(7~9)
			田原市	10
県外	697	(17.9%)	三重県	172
			岐阜県	392
			静岡県	19
			その他	114

※住所情報として郵便番号を利用。郵便番号から地域が引き当らなかったデータは除外



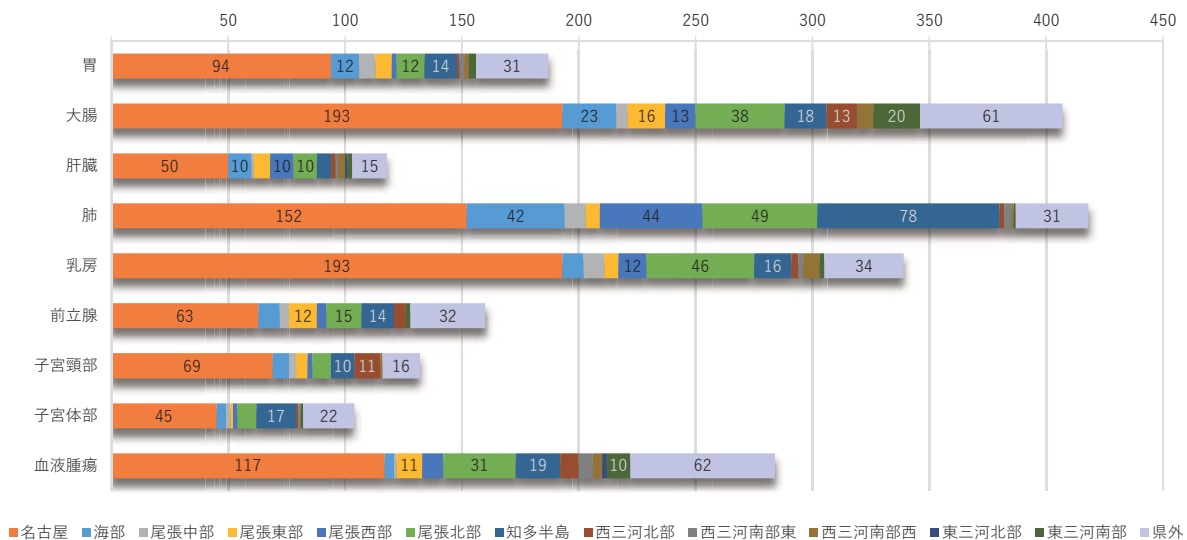
<登録数の割合>



※1%未満の割合となる少件数圏はまとめて「(他)」とした

■ 3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

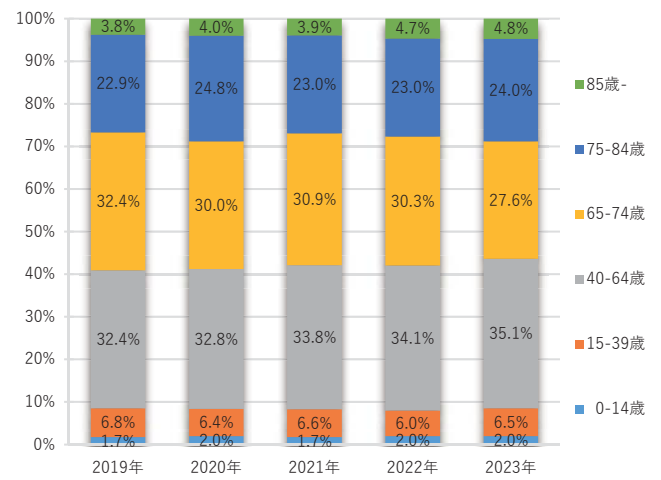
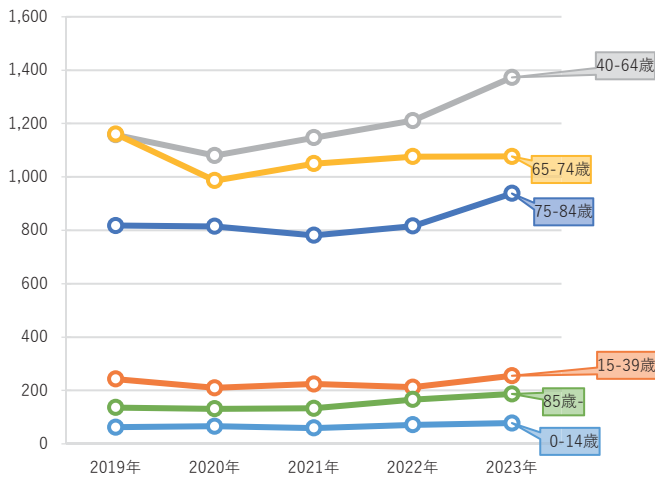
2023年 医療圏	部位別件数									
	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍	
名古屋	94	193	50	152	193	63	69	45	117	
海部	12	23	10	42	(7~9)	(7~9)	(7~9)	(4~6)	(4~6)	(4~6)
尾張中部	(7~9)	(4~6)	(1~3)	(7~9)	(7~9)	(4~6)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	(1~3)
尾張東部	(7~9)	16	(7~9)	(4~6)	(4~6)	12	(4~6)	(1~3)	11	
尾張西部	(1~3)	13	10	44	12	(4~6)	(1~3)	(1~3)	(7~9)	
尾張北部	12	38	10	49	46	15	(7~9)	(7~9)	31	
知多半島	14	18	(4~6)	78	16	14	10	17	19	
西三河北部	(1~3)	13	(1~3)	(1~3)	(1~3)	(4~6)	11	(1~3)	(7~9)	
西三河南部東	(1~3)	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	0	(1~3)	(4~6)	
西三河南部西	(1~3)	(7~9)	(1~3)	(1~3)	(7~9)	0	(1~3)	0	(4~6)	
東三河北部	0	0	(1~3)	0	0	0	0	0	(1~3)	
東三河南部	(1~3)	20	(1~3)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	(1~3)	10	
県外	31	61	15	31	34	32	16	22	62	



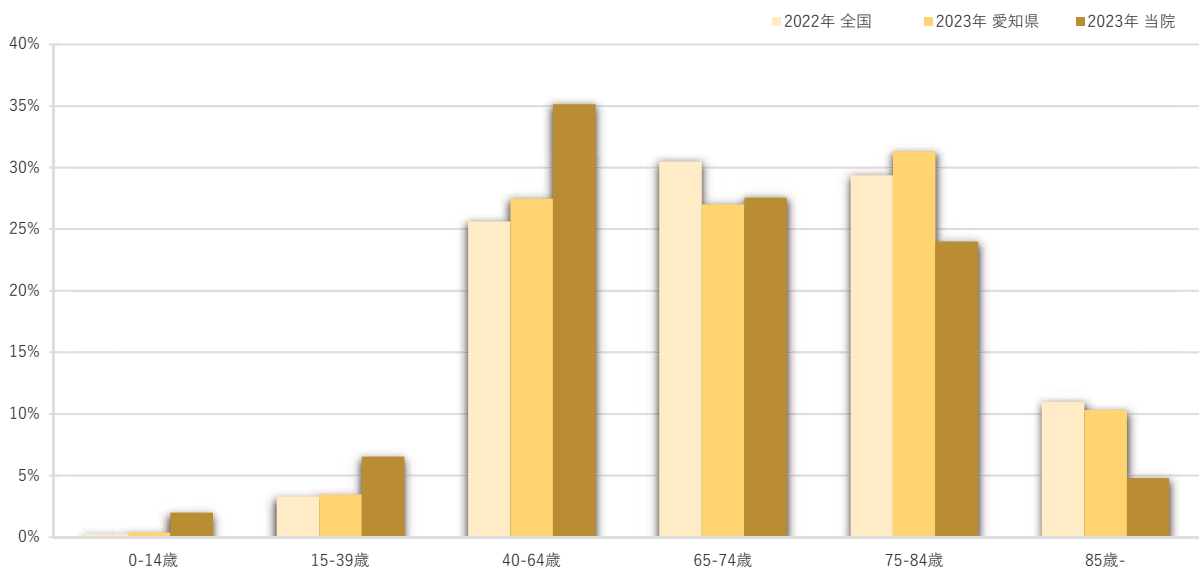
4. 年齢の割合

■ 4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
年齢階級	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	62	(1.7%)	66	(2.0%)	59	(1.7%)	71	(2.0%)	78	(2.0%)
15-39歳	243	(6.8%)	210	(6.4%)	224	(6.6%)	212	(6.0%)	255	(6.5%)
40-64歳	1,158	(32.4%)	1,080	(32.8%)	1,147	(33.8%)	1,211	(34.1%)	1,373	(35.1%)
65-74歳	1,161	(32.4%)	986	(30.0%)	1,050	(30.9%)	1,076	(30.3%)	1,077	(27.6%)
75-84歳	818	(22.9%)	815	(24.8%)	781	(23.0%)	816	(23.0%)	938	(24.0%)
85歳-	136	(3.8%)	131	(4.0%)	133	(3.9%)	166	(4.7%)	187	(4.8%)

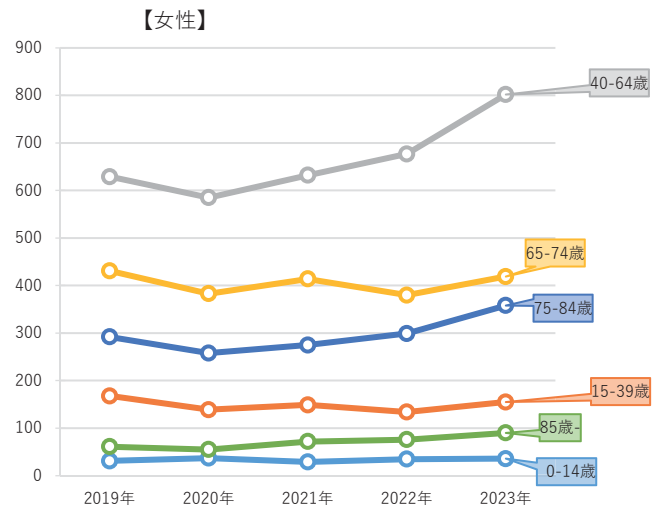
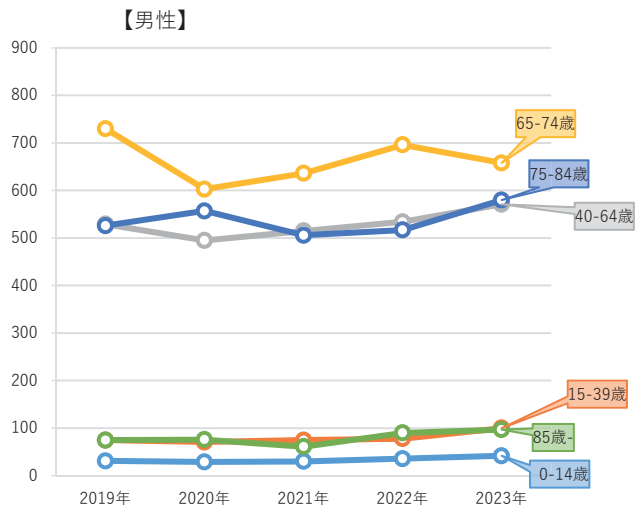


■ 4-2. 愛知県全体・全国値との比較

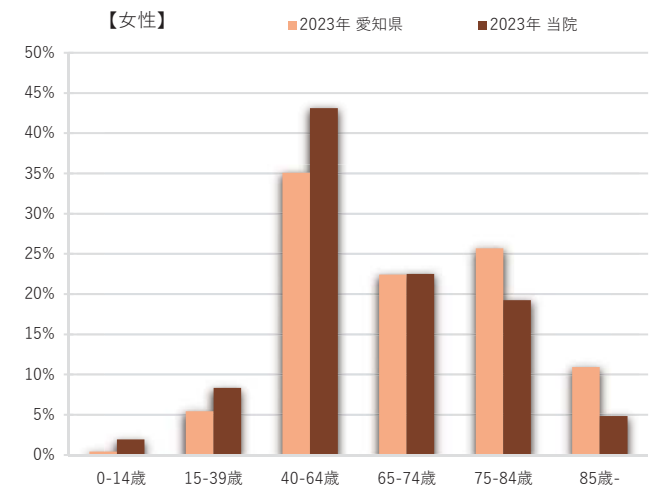
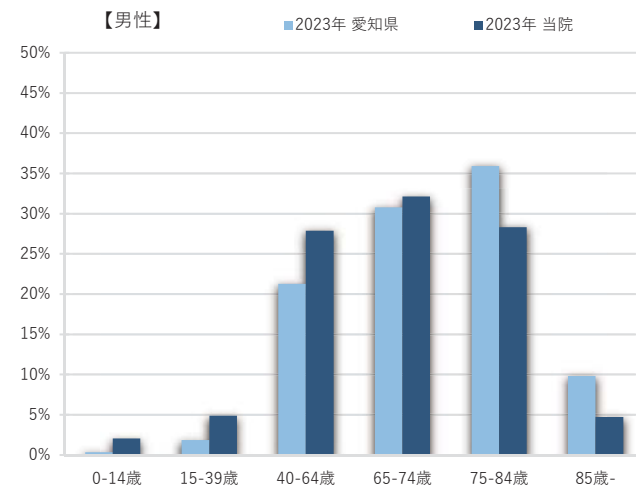


■ 4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
【男性】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	31	(1.6%)	29	(1.6%)	30	(1.6%)	36	(1.8%)	42	(2.1%)
15-39歳	75	(3.8%)	71	(3.9%)	75	(4.1%)	78	(4.0%)	100	(4.9%)
40-64歳	529	(26.9%)	495	(27.0%)	515	(28.3%)	534	(27.4%)	571	(27.9%)
65-74歳	730	(37.1%)	603	(32.9%)	636	(34.9%)	696	(35.7%)	658	(32.1%)
75-84歳	526	(26.8%)	557	(30.4%)	506	(27.8%)	517	(26.5%)	580	(28.3%)
85歳-	75	(3.8%)	76	(4.2%)	61	(3.3%)	90	(4.6%)	97	(4.7%)
【女性】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-14歳	31	(1.9%)	37	(2.5%)	29	(1.8%)	35	(2.2%)	36	(1.9%)
15-39歳	168	(10.4%)	139	(9.5%)	149	(9.5%)	134	(8.4%)	155	(8.3%)
40-64歳	629	(39.0%)	585	(40.2%)	632	(40.2%)	677	(42.3%)	802	(43.1%)
65-74歳	431	(26.7%)	383	(26.3%)	414	(26.4%)	380	(23.7%)	419	(22.5%)
75-84歳	292	(18.1%)	258	(17.7%)	275	(17.5%)	299	(18.7%)	358	(19.2%)
85歳-	61	(3.8%)	55	(3.8%)	72	(4.6%)	76	(4.7%)	90	(4.8%)



■ 4-4. 男女別 愛知県全体との比較

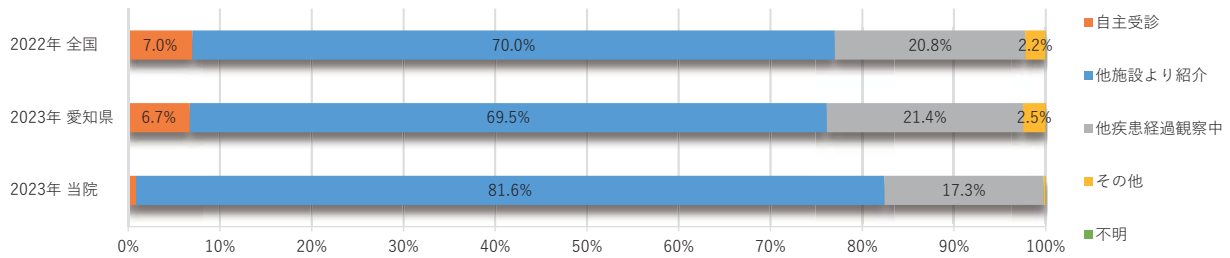


5. 来院経路

■ 5-1. 来院経路別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
来院経路	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	93	(2.6%)	70	(2.1%)	34	(1.0%)	46	(1.3%)	33	(0.8%)
他施設より紹介	2,864	(80.0%)	2,635	(80.1%)	2,697	(79.5%)	2,875	(80.9%)	3,188	(81.6%)
他疾患経過観察中	607	(17.0%)	569	(17.3%)	656	(19.3%)	620	(17.5%)	678	(17.3%)
その他	14	(0.4%)	13	(0.4%)	(7~9)	--	(7~9)	--	(7~9)	--
不明	0	--	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--

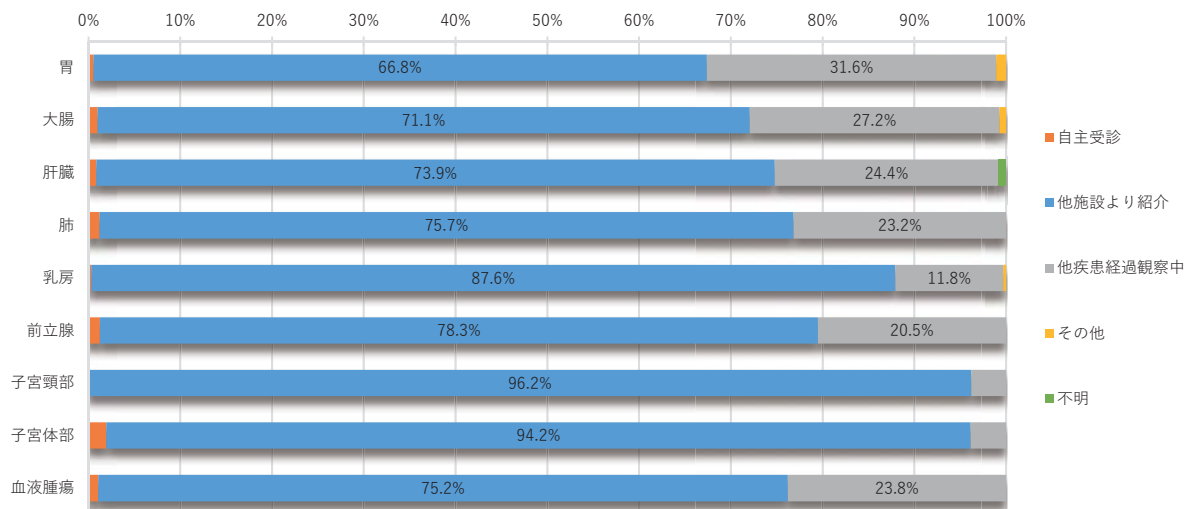
■ 5-2. 愛知県全体・全国値との比較



■ 5-3. 部位別

2023年	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
来院経路	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	(1~3)	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(1~3)	--
他施設より紹介	125	(66.8%)	290	(71.1%)	88	(73.9%)	317	(75.7%)	298	(87.6%)
他疾患経過観察中	59	(31.6%)	111	(27.2%)	29	(24.4%)	97	(23.2%)	40	(11.8%)
その他	(1~3)	--	(1~3)	--	0	--	0	--	(1~3)	--
不明	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--	0	--

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
来院経路	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	(1~3)	--	0	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設より紹介	126	(78.3%)	127	(96.2%)	98	(94.2%)	215	(75.2%)
他疾患経過観察中	33	(20.5%)	(4~6)	--	(4~6)	--	68	(23.8%)
その他	0	--	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--

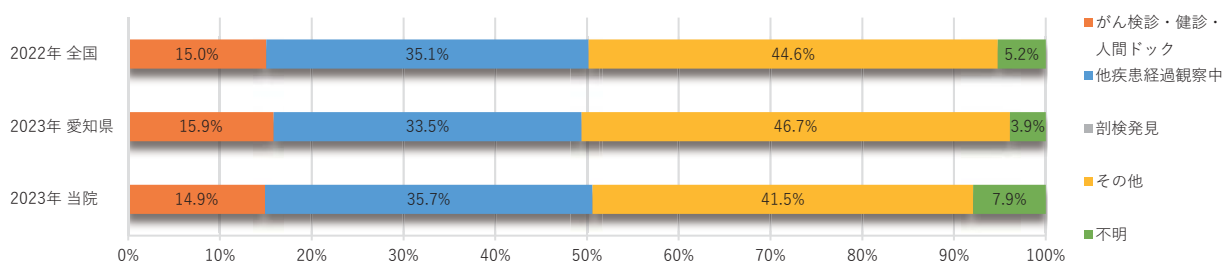


6. 発見経緯

■ 6-1. 発見経緯別登録数の年次推移

診断年	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年	
発見経緯	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健診・人間ドック	509	(14.2%)	453	(13.8%)	461	(13.6%)	520	(14.6%)	583	(14.9%)
他疾患経過観察中	1,230	(34.4%)	1,068	(32.5%)	1,165	(34.3%)	1,176	(33.1%)	1,395	(35.7%)
剖検発見	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--	0	--
その他	1,650	(46.1%)	1,617	(49.2%)	1,555	(45.8%)	1,586	(44.7%)	1,621	(41.5%)
不明	189	(5.3%)	150	(4.6%)	211	(6.2%)	270	(7.6%)	309	(7.9%)

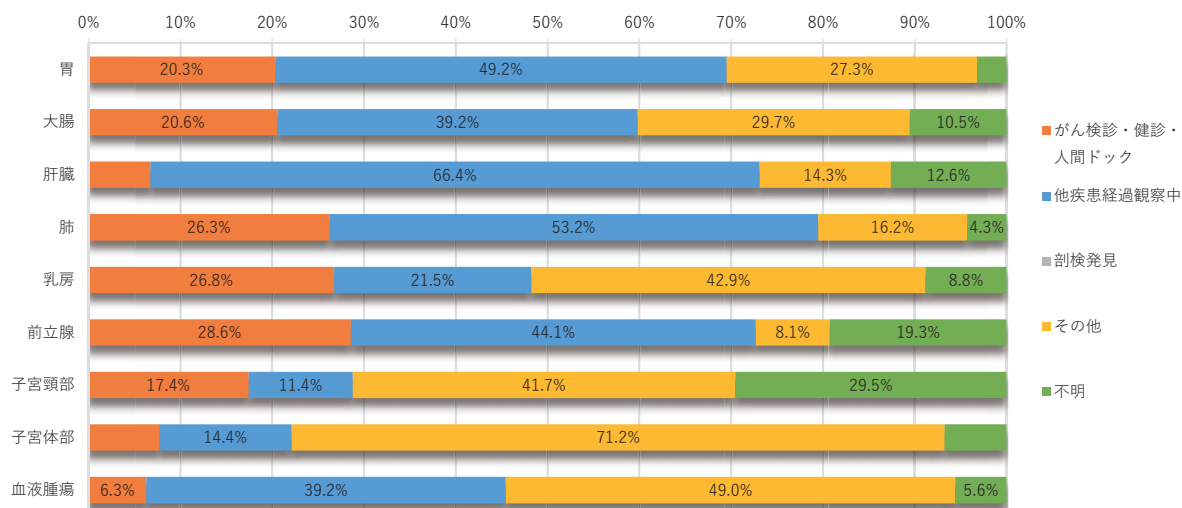
■ 6-2. 愛知県全体・全国値の比較



■ 6-3. 部位別

2023年	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
発見経緯	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健診・人間ドック	38	(20.3%)	84	(20.6%)	(7~9)	--	110	(26.3%)	91	(26.8%)
他疾患経過観察中	92	(49.2%)	160	(39.2%)	79	(66.4%)	223	(53.2%)	73	(21.5%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	51	(27.3%)	121	(29.7%)	17	(14.3%)	68	(16.2%)	146	(42.9%)
不明	(4~6)	--	43	(10.5%)	15	(12.6%)	18	(4.3%)	30	(8.8%)

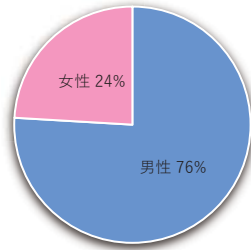
	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
発見経緯	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健診・人間ドック	46	(28.6%)	23	(17.4%)	(7~9)	--	18	(6.3%)
他疾患経過観察中	71	(44.1%)	15	(11.4%)	15	(14.4%)	112	(39.2%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	13	(8.1%)	55	(41.7%)	74	(71.2%)	140	(49.0%)
不明	31	(19.3%)	39	(29.5%)	(7~9)	--	16	(5.6%)



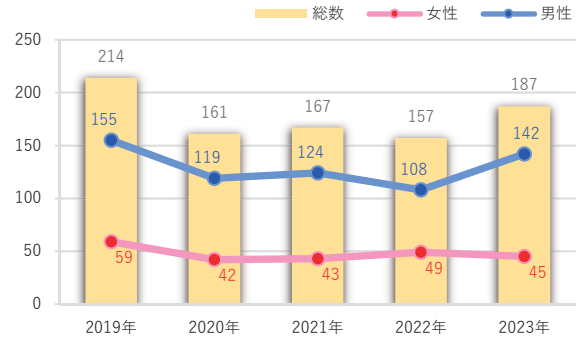
7-1. 部位別：胃

◆ 1. 登録数と男女割合

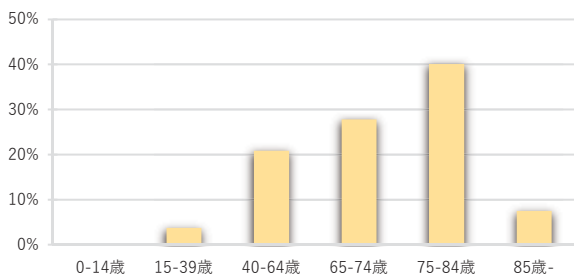
2023年	登録数
全体	187
男性	142
女性	45



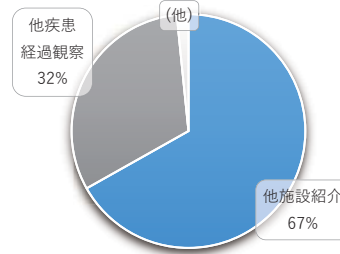
◆ 2. 登録数の年次推移



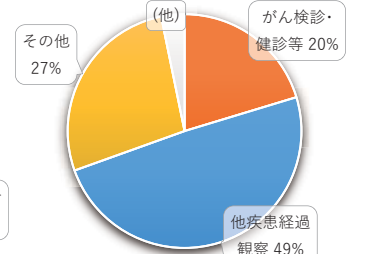
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



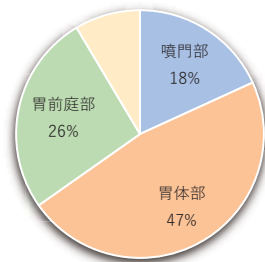
◆ 5. 発見経緯別



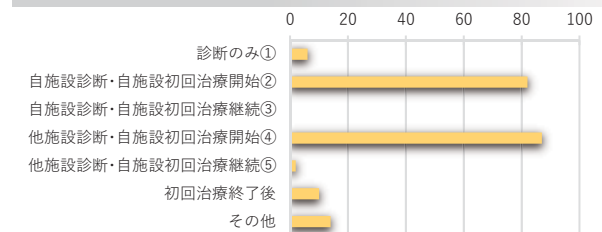
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C160	噴門	30
C161	胃底部 (4~6)	88
C162	胃体部	88
C163	胃前庭部	49
C164	幽門	0
C165	胃小彎	11
C166	胃大彎	0
C168	境界部病巣	0
C169	胃NOS (4~6)	0



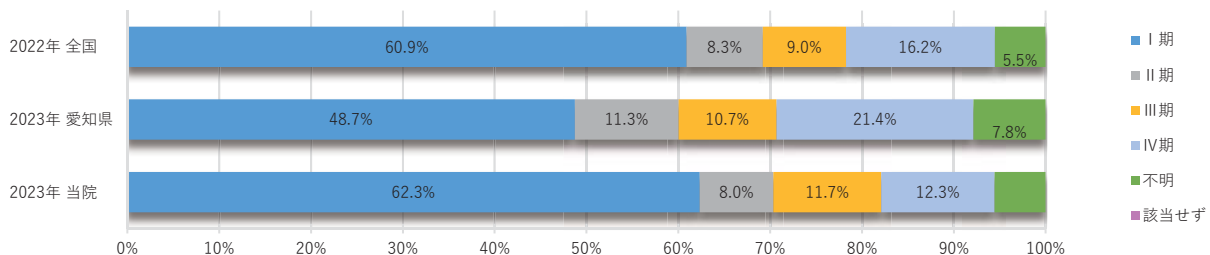
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	171	(91.4%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	88	(47.1%)

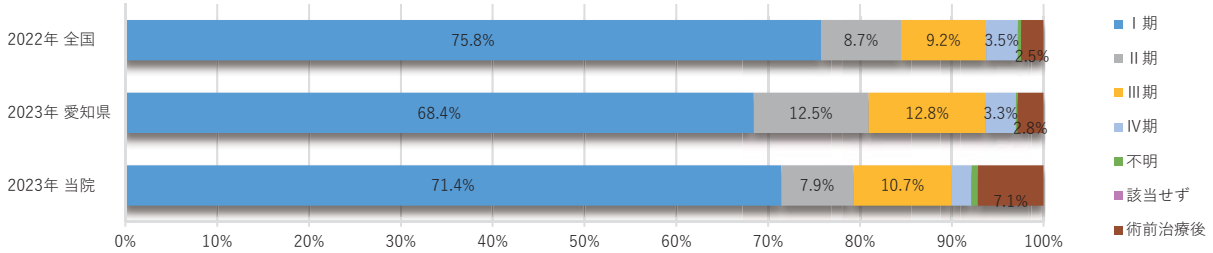
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	101	13	19	20	(7~9)	0	162
割合	--	62.3%	8.0%	11.7%	12.3%	--	--	



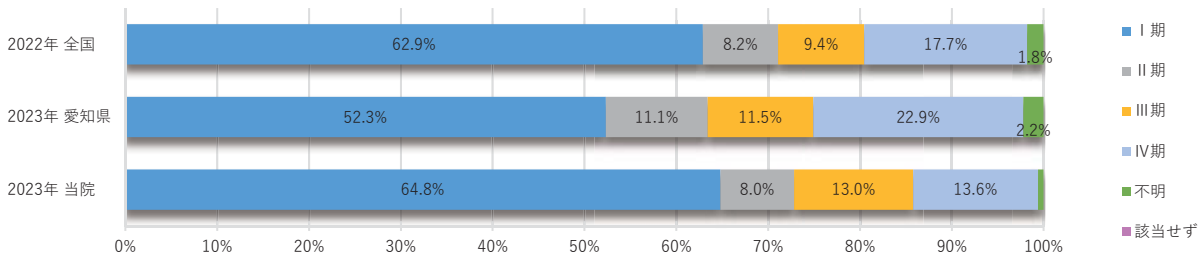
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	--	100	11	15	(1~3)	(1~3)	0	10	140
割合	--	71.4%	7.9%	10.7%	--	--	--	7.1%	



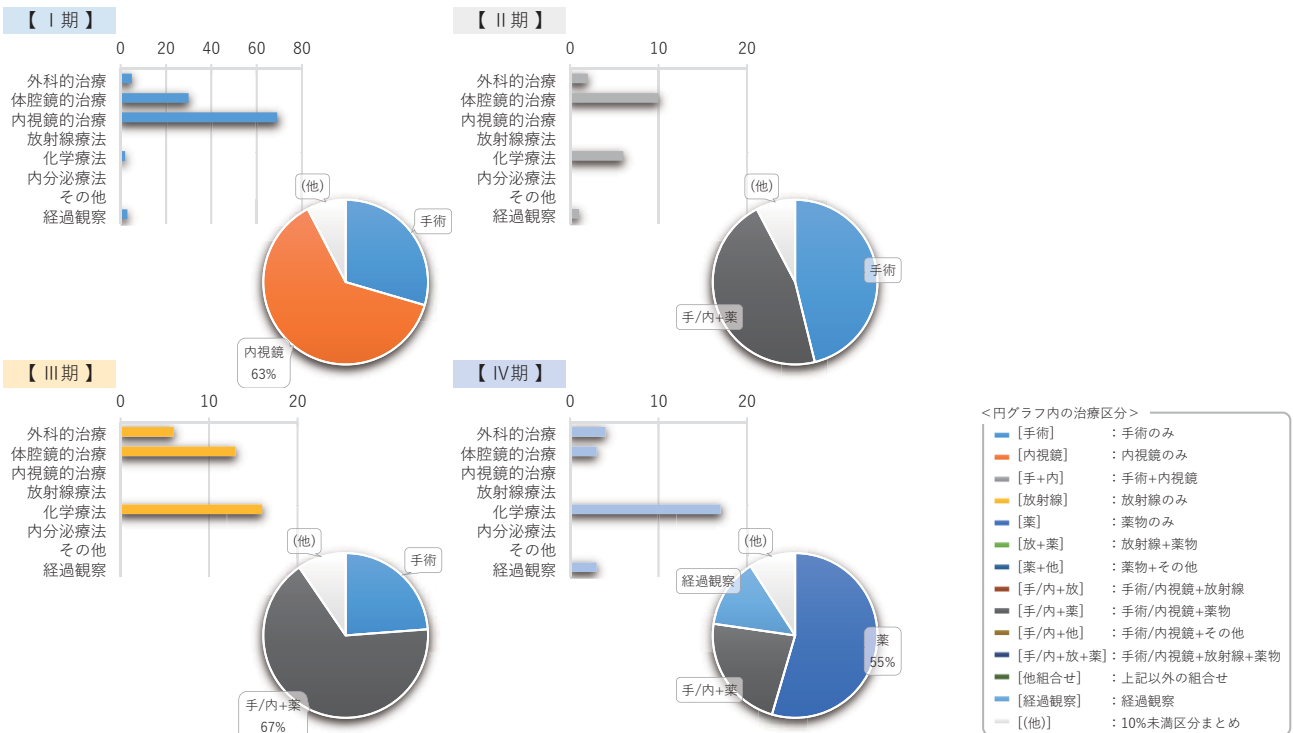
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	105	13	21	22	(1~3)	0	162
割合	--	64.8%	8.0%	13.0%	13.6%	--	--	



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

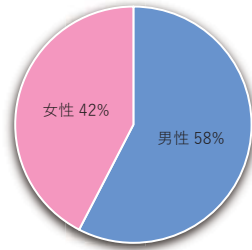
※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした



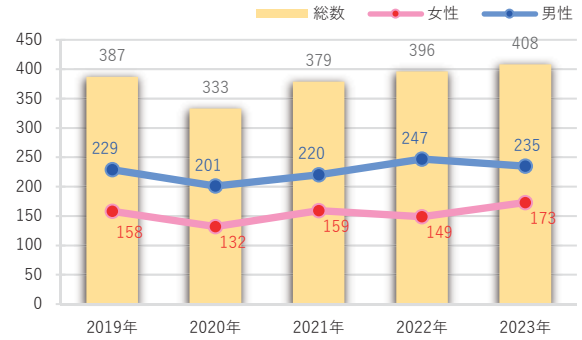
7-2. 部位別：大腸

◆ 1. 登録数と男女割合

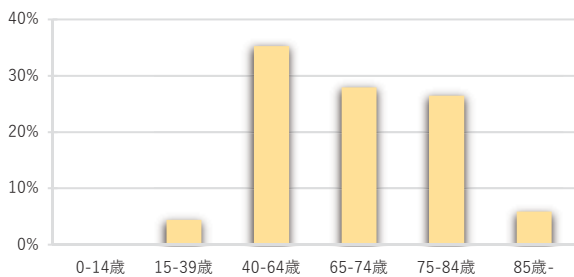
2023年	登録数
全体	408
男性	235
女性	173



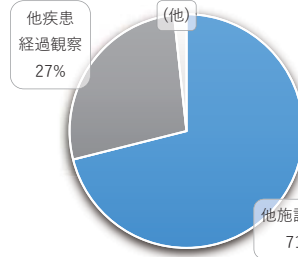
◆ 2. 登録数の年次推移



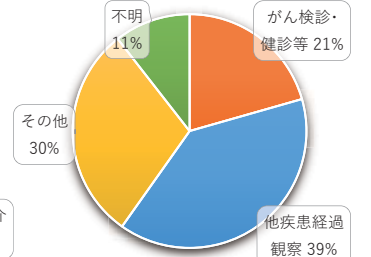
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



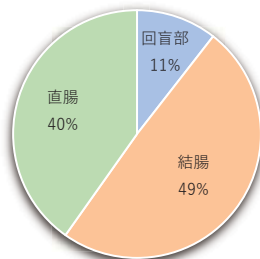
◆ 5. 発見経緯別



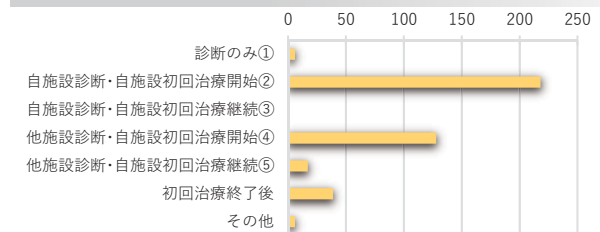
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C180	盲腸	37
C181	虫垂	(4~6)
C182	上行結腸	57
C183	右結腸曲	(1~3)
C184	横行結腸	36
C185	左結腸曲	0
C186	下行結腸	20
C187	S状結腸	84
C188	境界部病巣	0
C189	結腸NOS	(1~3)
C199	直腸S状結腸	40
C209	直腸NOS	124



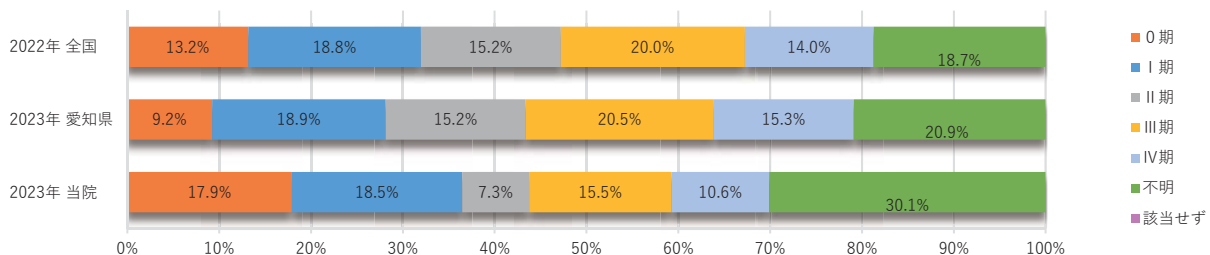
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	363	(89.0%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	224	(54.9%)

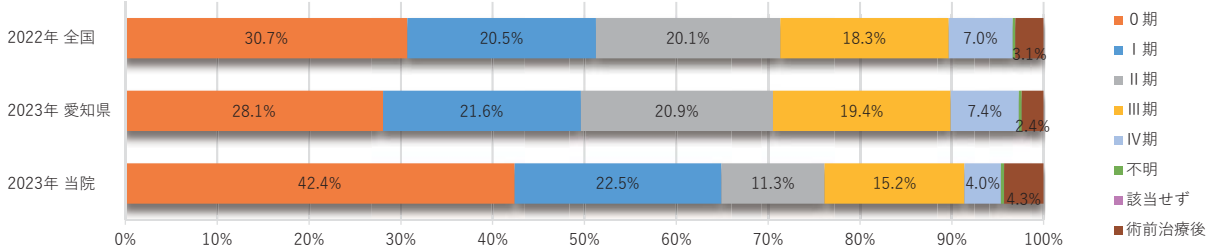
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	59	61	24	51	35	99	0	329
割合	17.9%	18.5%	7.3%	15.5%	10.6%	30.1%	--	



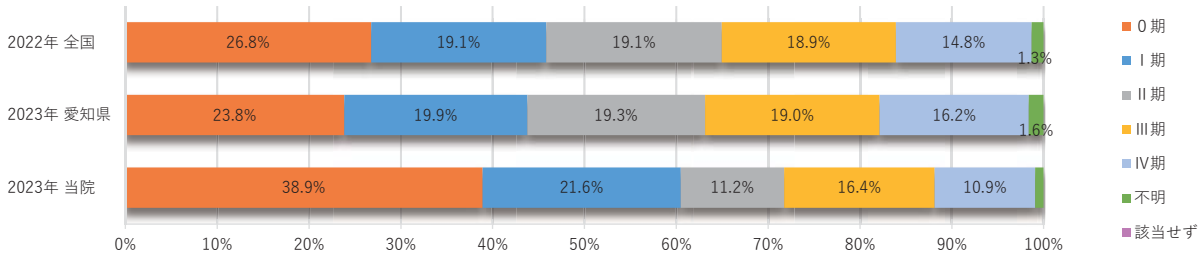
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	128	68	34	46	12	(1~3)	0	13	302
割合	42.4%	22.5%	11.3%	15.2%	4.0%	--	--	4.3%	



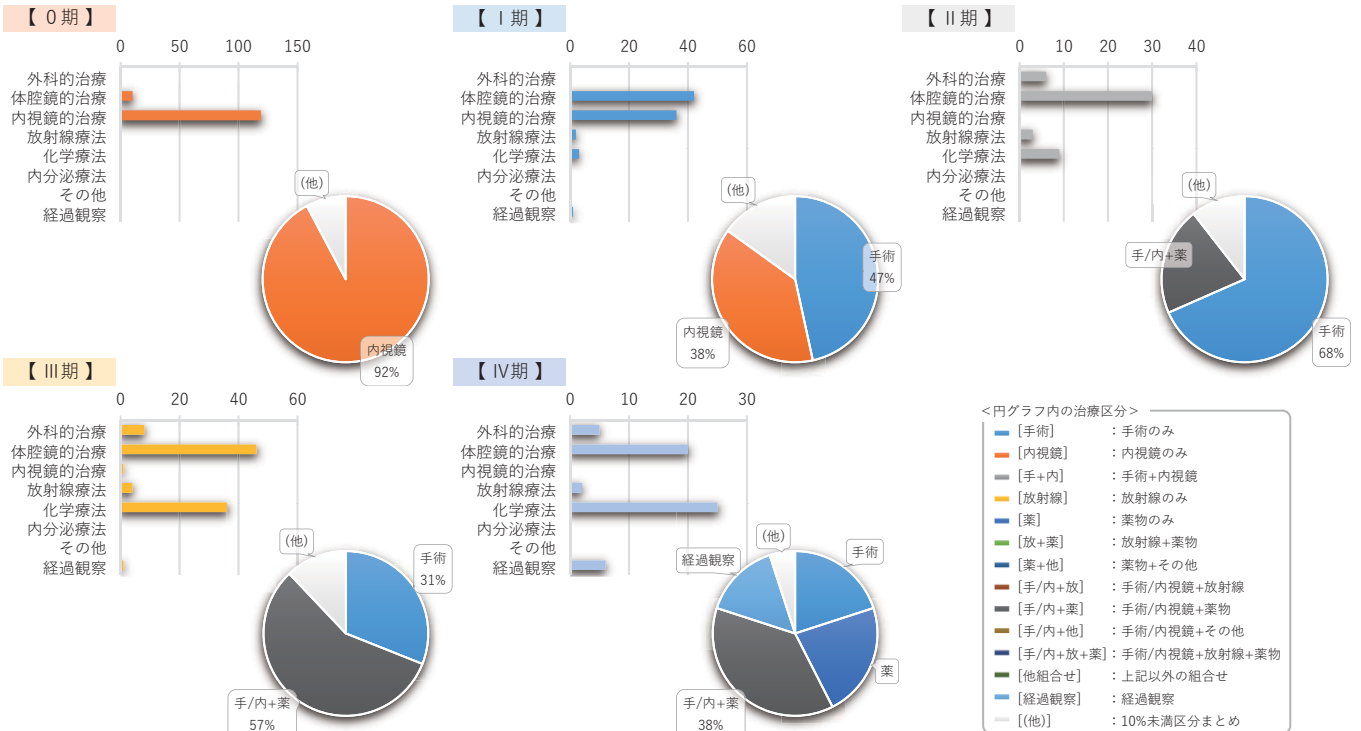
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	128	71	37	54	36	(1~3)	0	329
割合	38.9%	21.6%	11.2%	16.4%	10.9%	--	--	



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

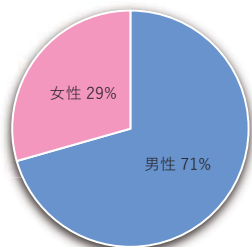
※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした



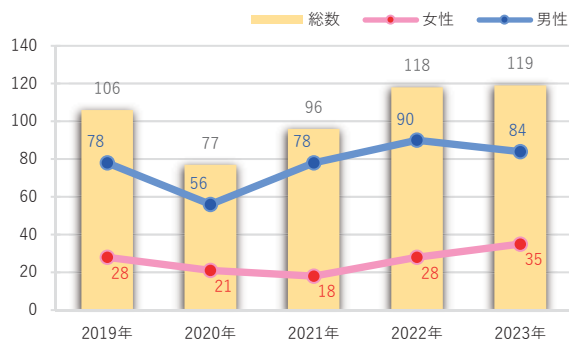
7-3. 部位別：肝臓

◆ 1. 登録数と男女割合

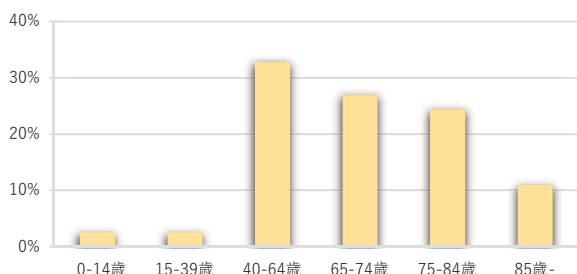
2023年	登録数
全体	119
男性	84
女性	35



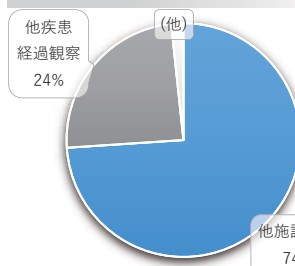
◆ 2. 登録数の年次推移



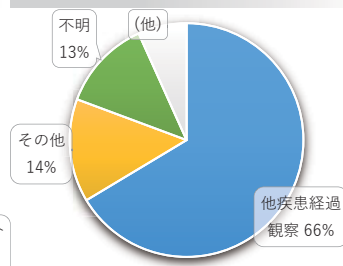
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



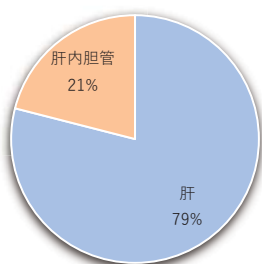
◆ 5. 発見経緯別



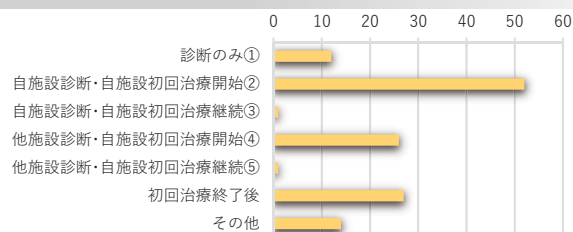
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C220	肝	94
C221	肝内胆管	25



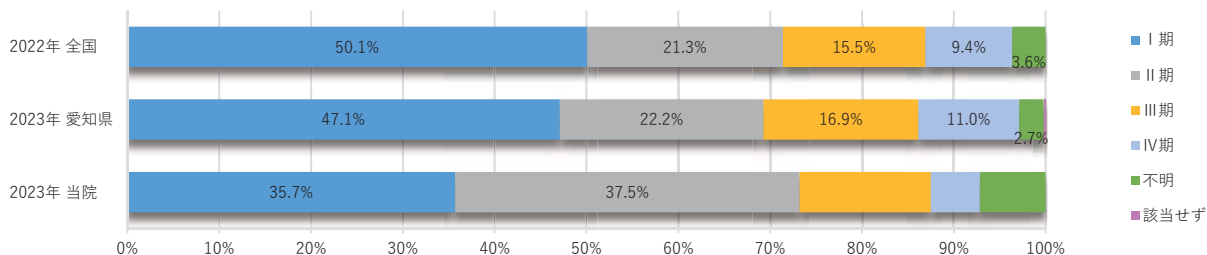
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	80	(67.2%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	65	(54.6%)

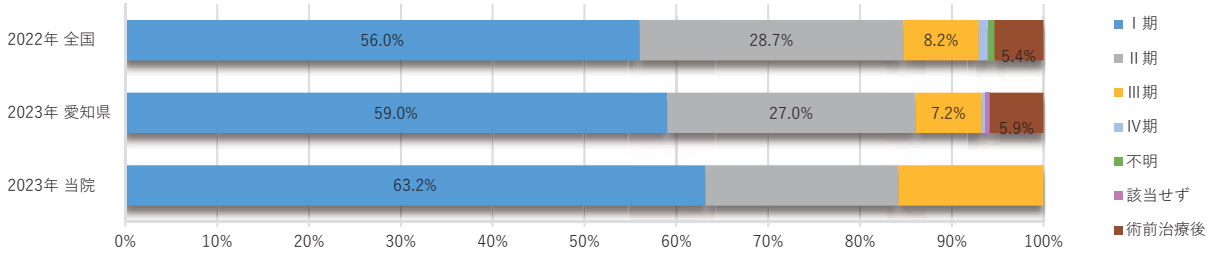
◆ 8. UICC TNM 肝細胞癌 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	20	21	(7~9)	(1~3)	(4~6)	0	56
割合	--	35.7%	37.5%	--	--	--	--	--



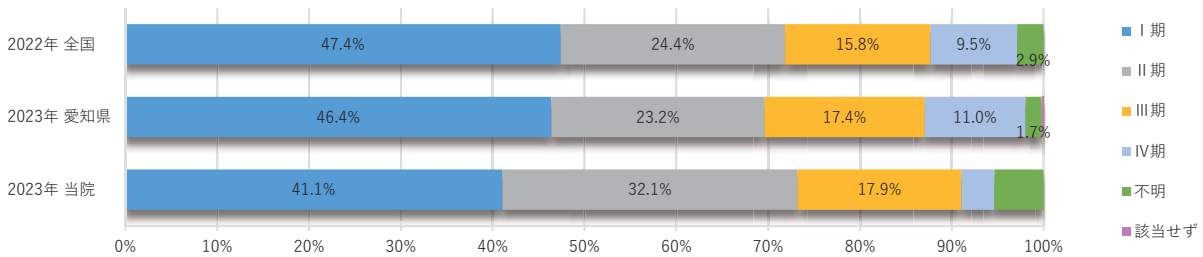
◆ 9. UICC TNM 肝細胞癌 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	--	12	(4~6)	(1~3)	0	0	0	0	19
割合	--	63.2%	--	--	--	--	--	--	--



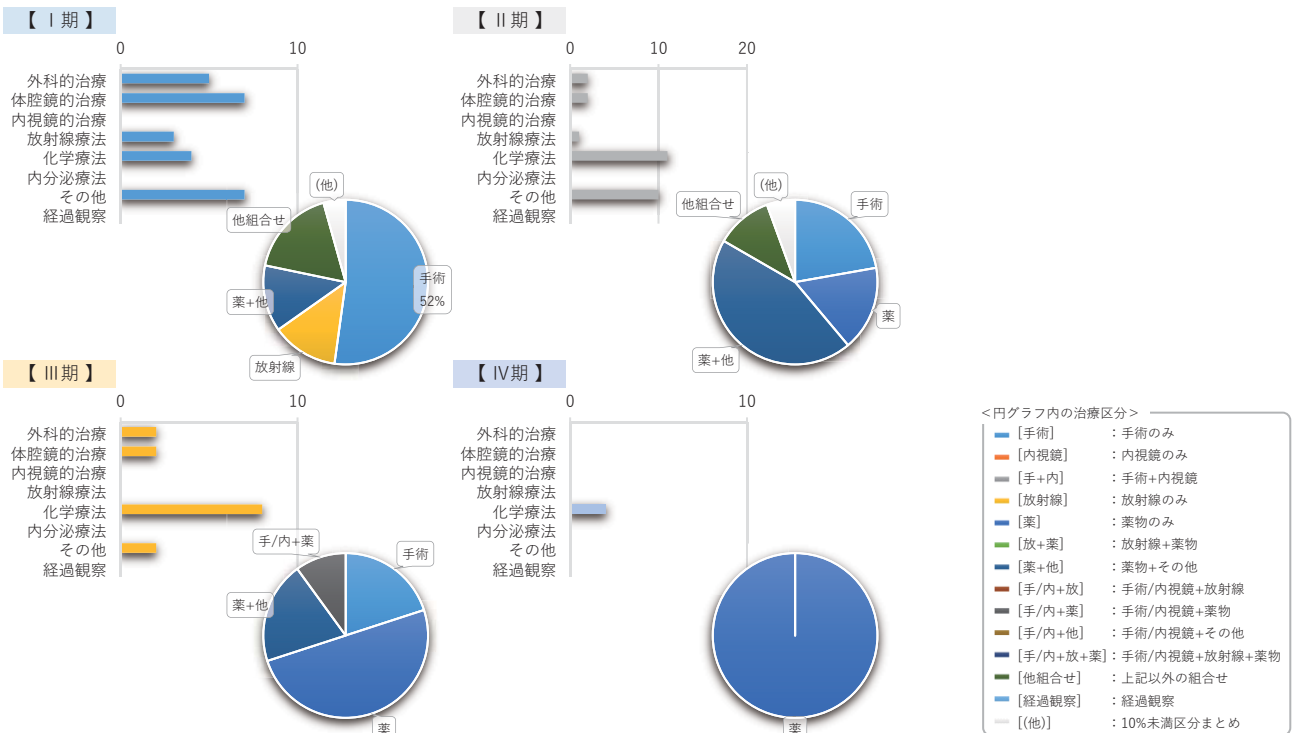
◆ 10. UICC TNM 肝細胞癌 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	23	18	10	(1~3)	(1~3)	0	56
割合	--	41.1%	32.1%	17.9%	--	--	--	--



◆ 11. UICC TNM 肝細胞癌 総合ステージ別 治療の件数

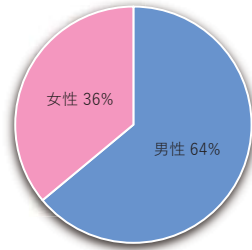
※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした



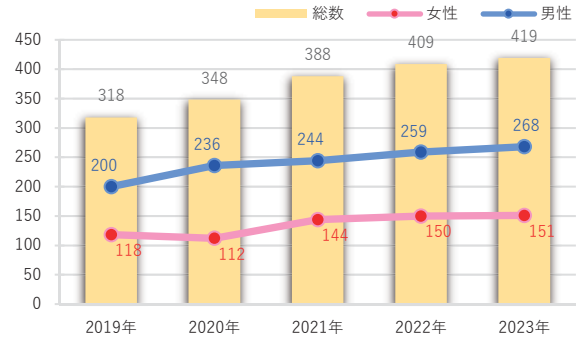
7-4. 部位別：肺

◆ 1. 登録数と男女割合

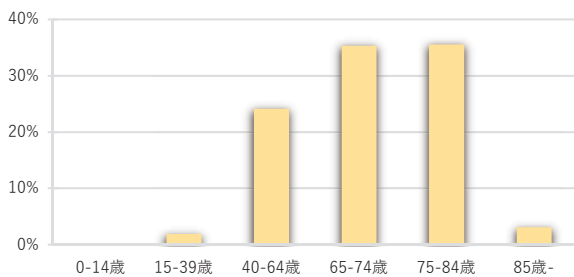
2023年	登録数
全体	419
男性	268
女性	151



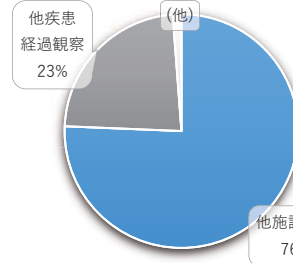
◆ 2. 登録数の年次推移



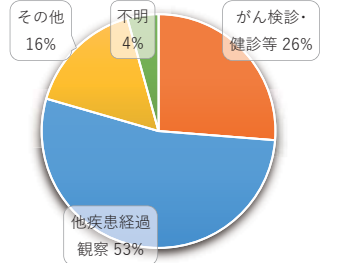
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



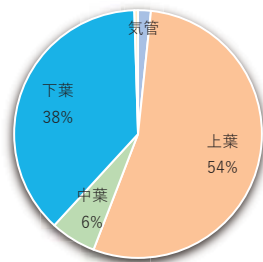
◆ 5. 発見経緯別



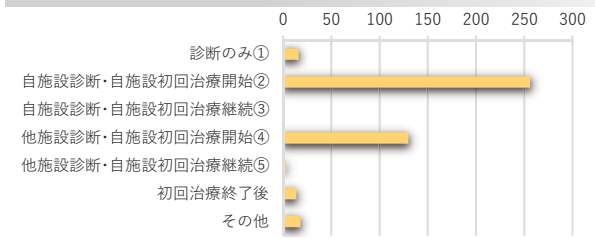
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C339	気管	(1~3)
C340	主気管支	(4~6)
C341	上葉・肺尖部	227
C342	中葉	25
C343	下葉	158
C348	境界部病巣	0
C349	肺NOS	(1~3)



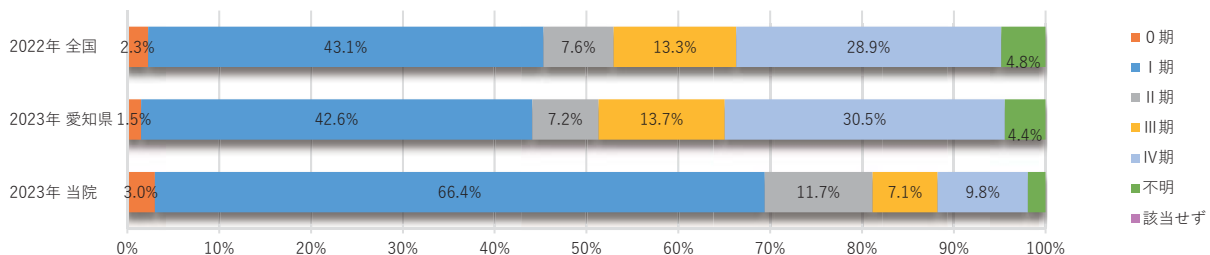
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	389	(92.8%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	272	(64.9%)

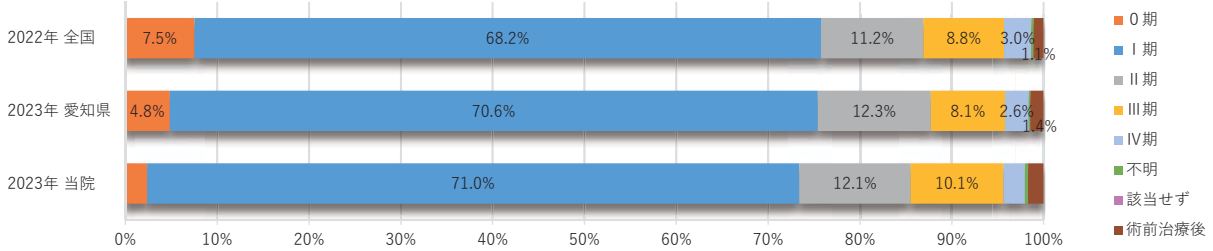
◆ 8. UICC TNM 非小細胞癌 治療前ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	11	243	43	26	36	(7~9)	0	366
割合	3.0%	66.4%	11.7%	7.1%	9.8%	--	--	



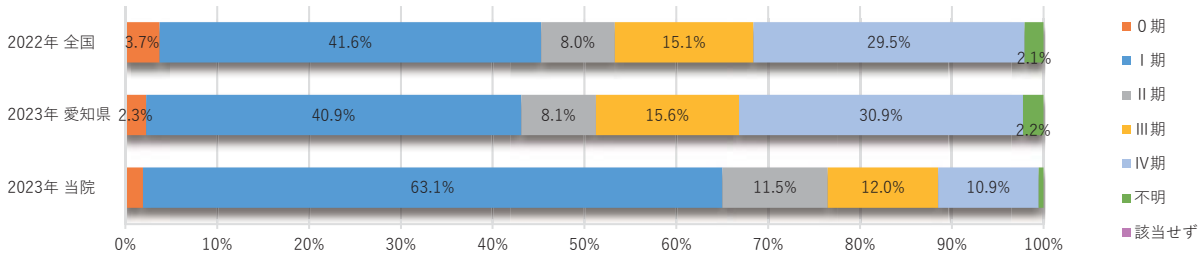
◆ 9. UICC TNM 非小細胞癌 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	(7~9)	211	36	30	(7~9)	(1~3)	0	(4~6)	297
割合	--	71.0%	12.1%	10.1%	--	--	--	--	--



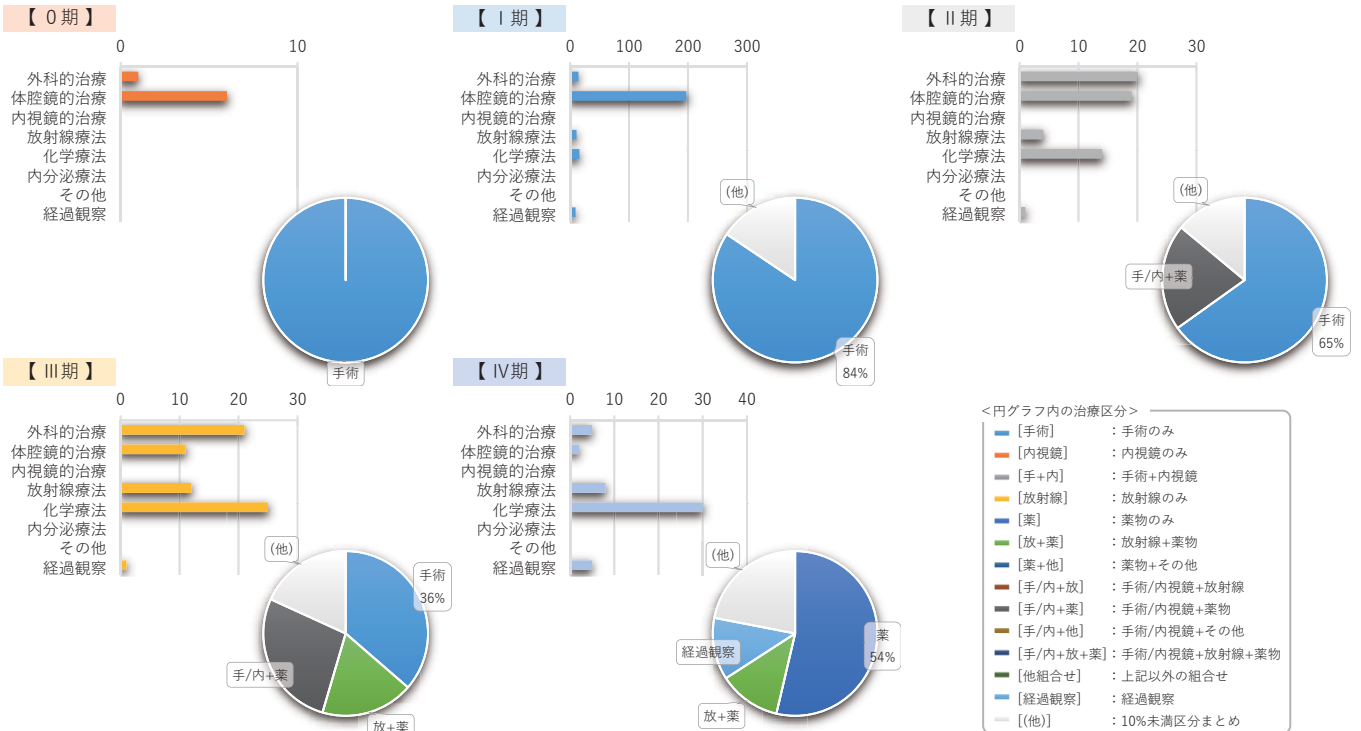
◆ 10. UICC TNM 非小細胞癌 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(7~9)	231	42	44	40	(1~3)	0	366
割合	--	63.1%	11.5%	12.0%	10.9%	--	--	--



◆ 11. UICC TNM 非小細胞癌 総合ステージ別 治療の件数

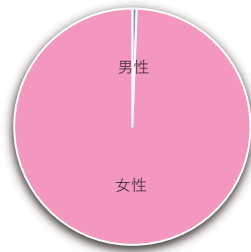
※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした



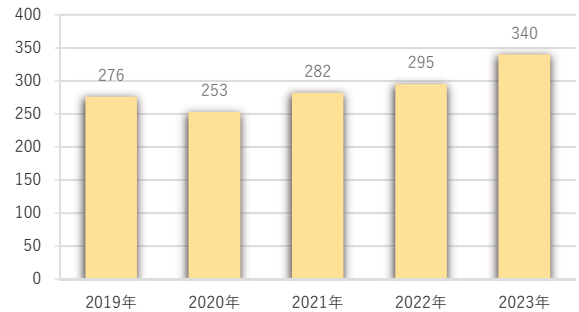
7-5. 部位別：乳房

◆ 1. 登録数と男女割合

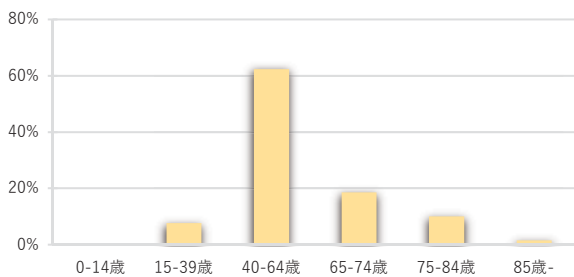
2023年		登録数
全体		340
男性	(1~3)	
女性		338



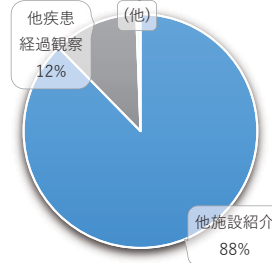
◆ 2. 登録数の年次推移



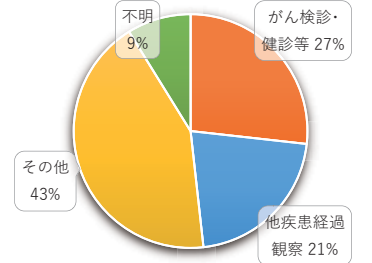
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



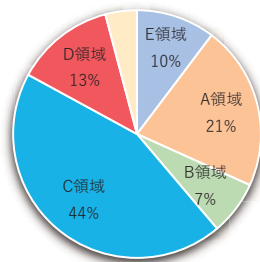
◆ 5. 発見経緯別



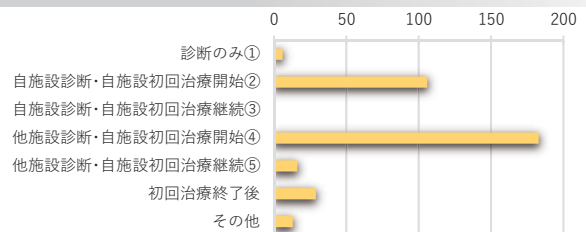
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C500	E'領域(乳頭部)	(1~3)
C501	E領域(乳輪部)	34
C502	A領域	73
C503	B領域	24
C504	C領域	150
C505	D領域	44
C506	C'領域	(1~3)
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	13



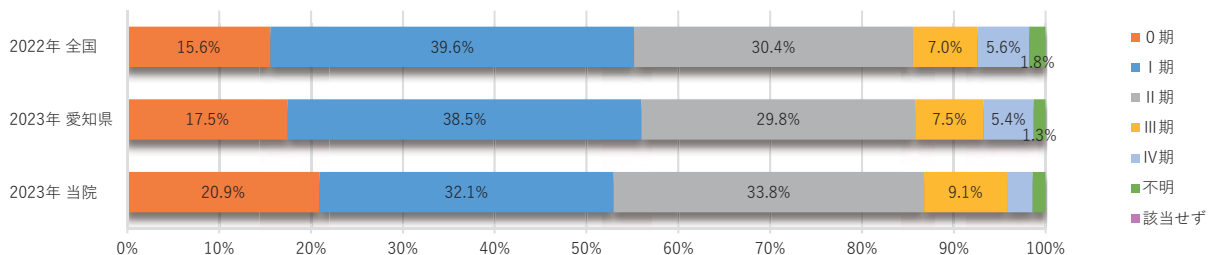
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	305	(89.7%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	112	(32.9%)

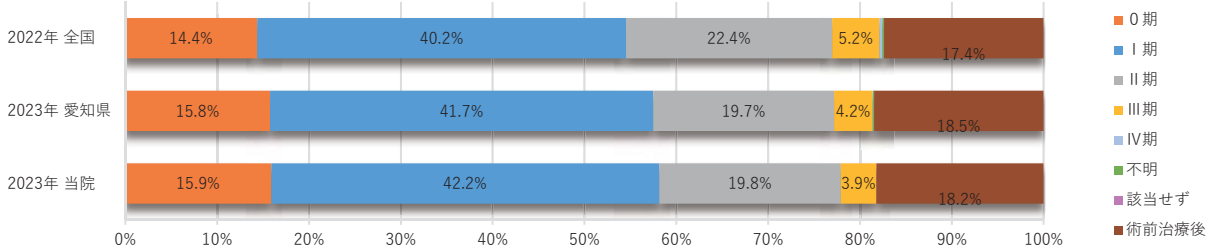
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	60	92	97	26	(7~9)	(4~6)	0	287
割合	20.9%	32.1%	33.8%	9.1%	--	--	--	



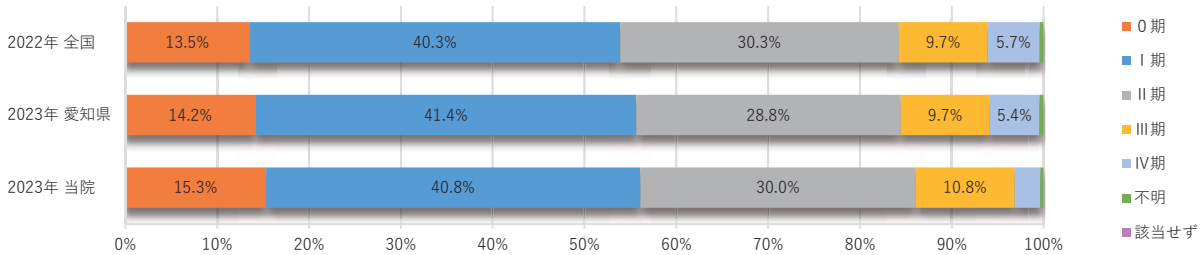
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	41	109	51	10	0	0	0	47	258
割合	15.9%	42.2%	19.8%	3.9%	--	--	--	18.2%	



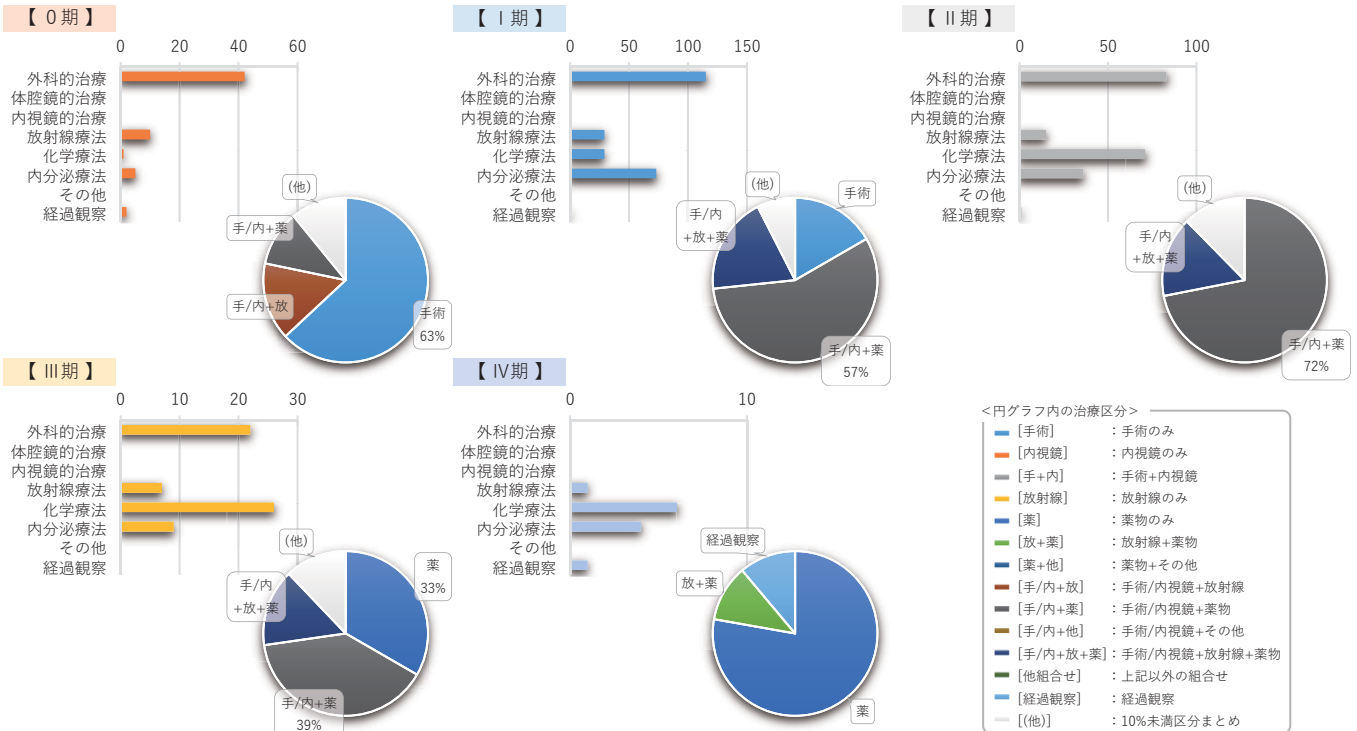
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	44	117	86	31	(7~9)	(1~3)	0	287
割合	15.3%	40.8%	30.0%	10.8%	--	--	--	



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした

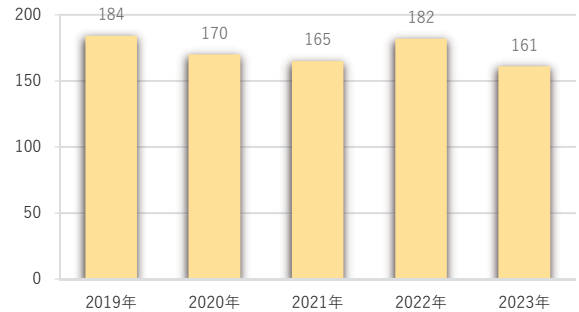


7-6. 部位別：前立腺

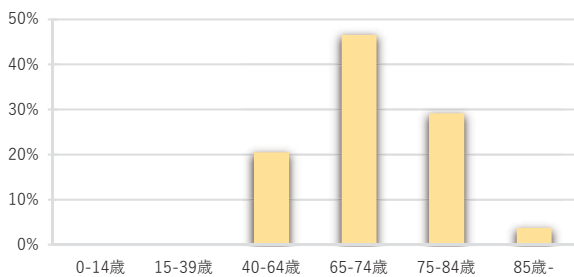
◆ 1. 登録数と男女割合

2023年		登録数
全体		161
男性		161
女性		--

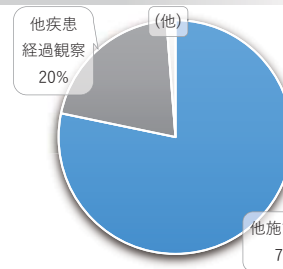
◆ 2. 登録数の年次推移



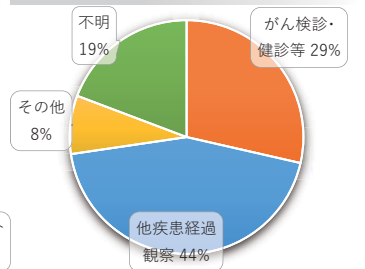
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



◆ 5. 発見経緯別

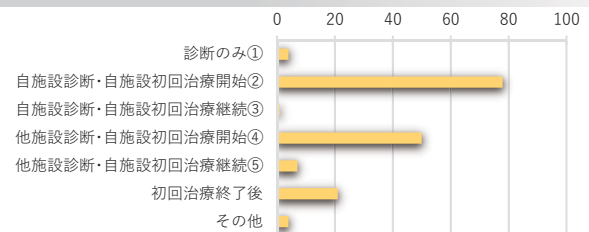


※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C619	前立腺	161

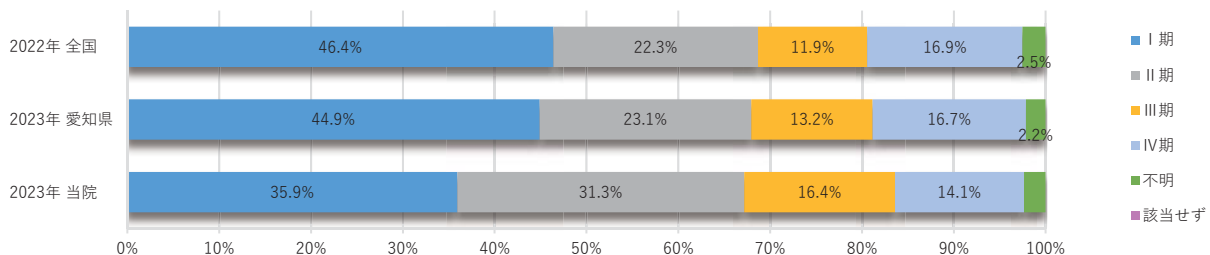
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	136	(84.5%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	83	(51.6%)

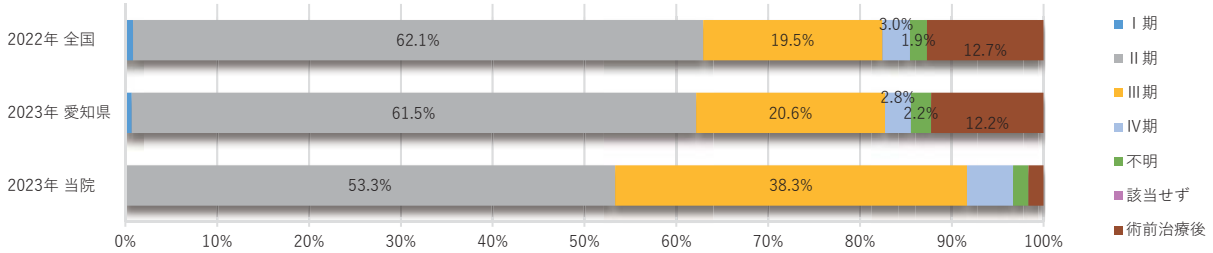
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	46	40	21	18	(1~3)	0	128
割合	--	35.9%	31.3%	16.4%	14.1%	--	--	



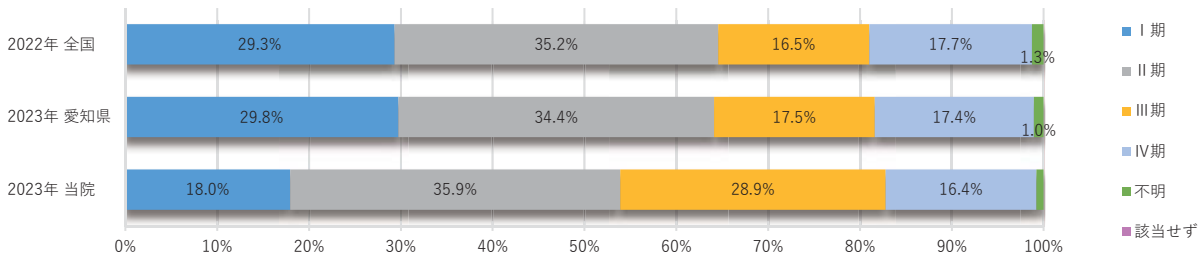
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	--	0	32	23	(1~3)	(1~3)	0	(1~3)	60
割合	--	--	53.3%	38.3%	--	--	--	--	--



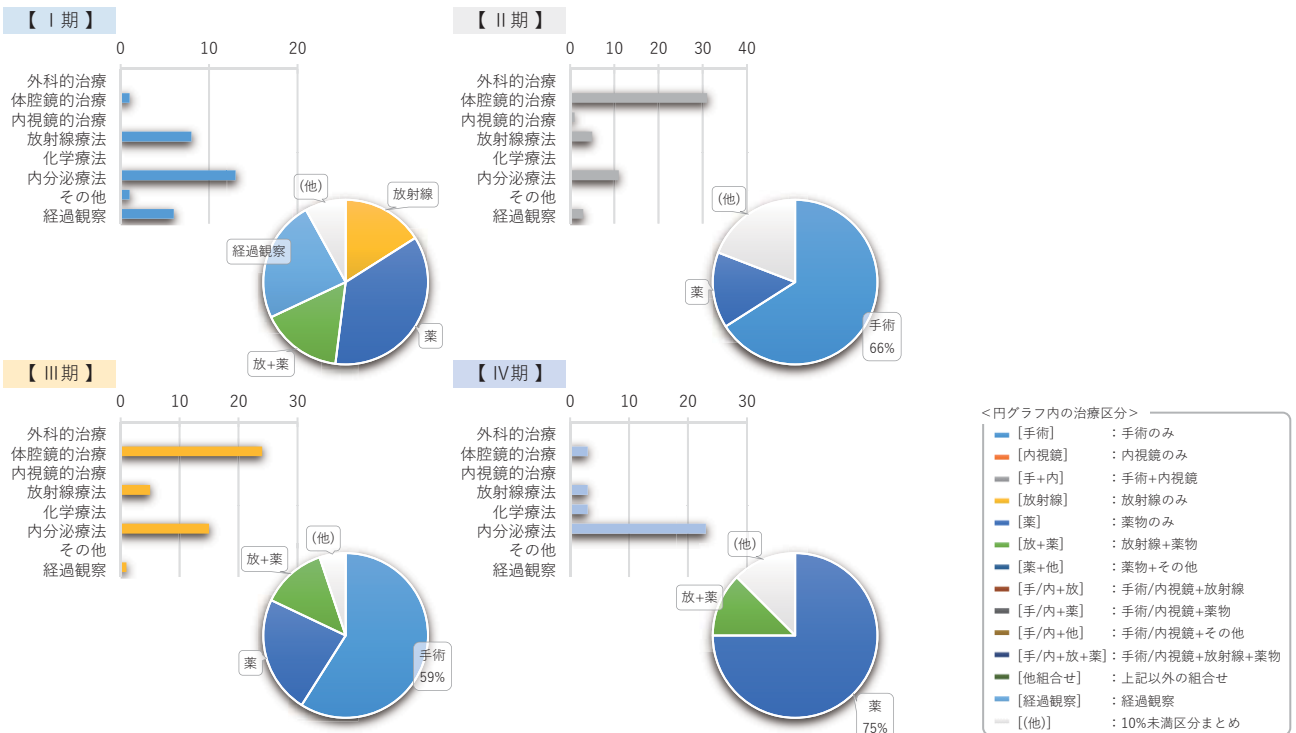
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	23	46	37	21	(1~3)	0	128
割合	--	18.0%	35.9%	28.9%	16.4%	--	--	--



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした

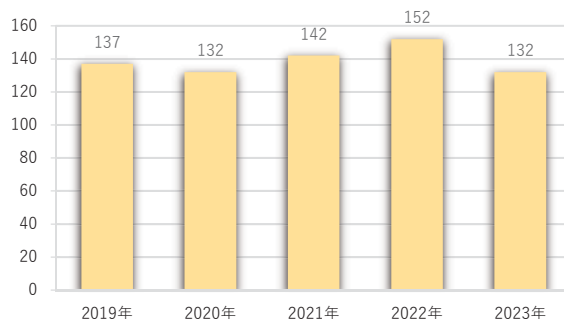


7-7. 部位別：子宮頸部

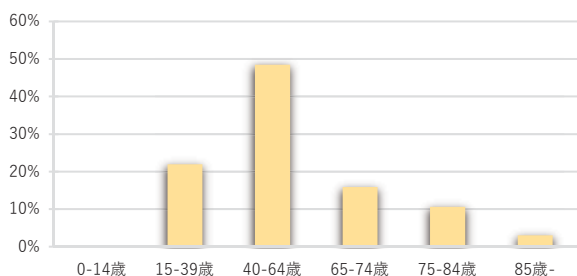
◆ 1. 登録数と男女割合

2023年	登録数
全体	132
男性	--
女性	132

◆ 2. 登録数の年次推移



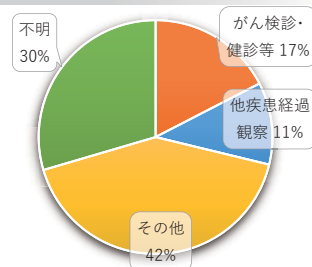
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



◆ 5. 発見経緯別

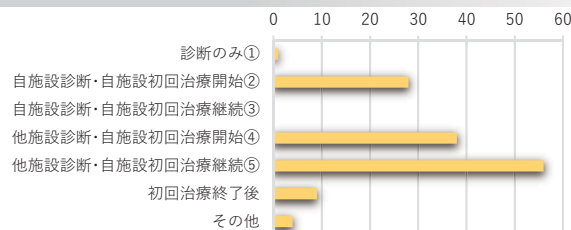


※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	境界部病巣	0
C539	子宮頸NOS	132

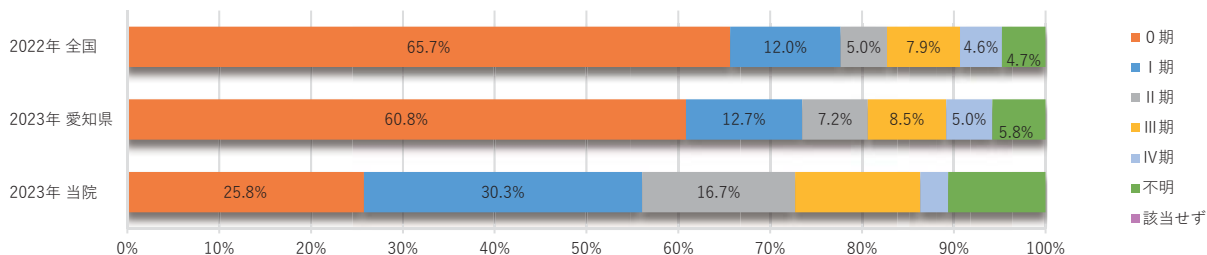
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	122	(92.4%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	29	(22.0%)

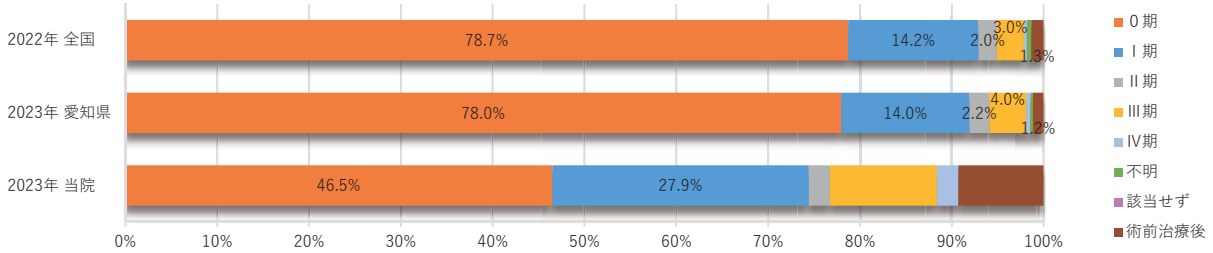
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	17	20	11	(7~9)	(1~3)	(7~9)	0	66
割合	25.8%	30.3%	16.7%	--	--	--	--	



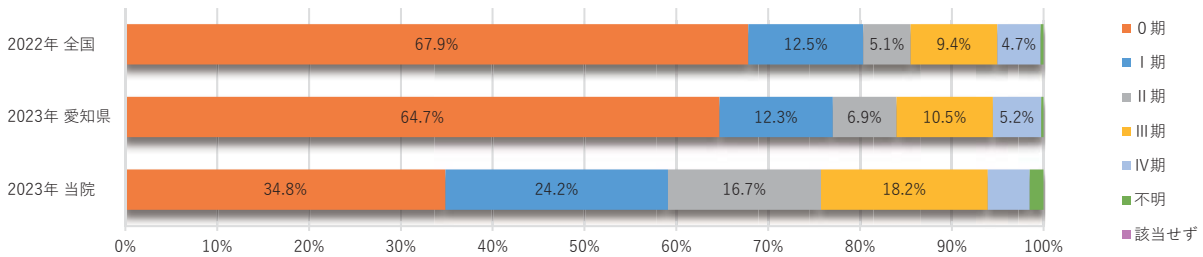
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	20	12	(1~3)	(4~6)	(1~3)	0	0	(4~6)	43
割合	46.5%	27.9%	--	--	--	--	--	--	--



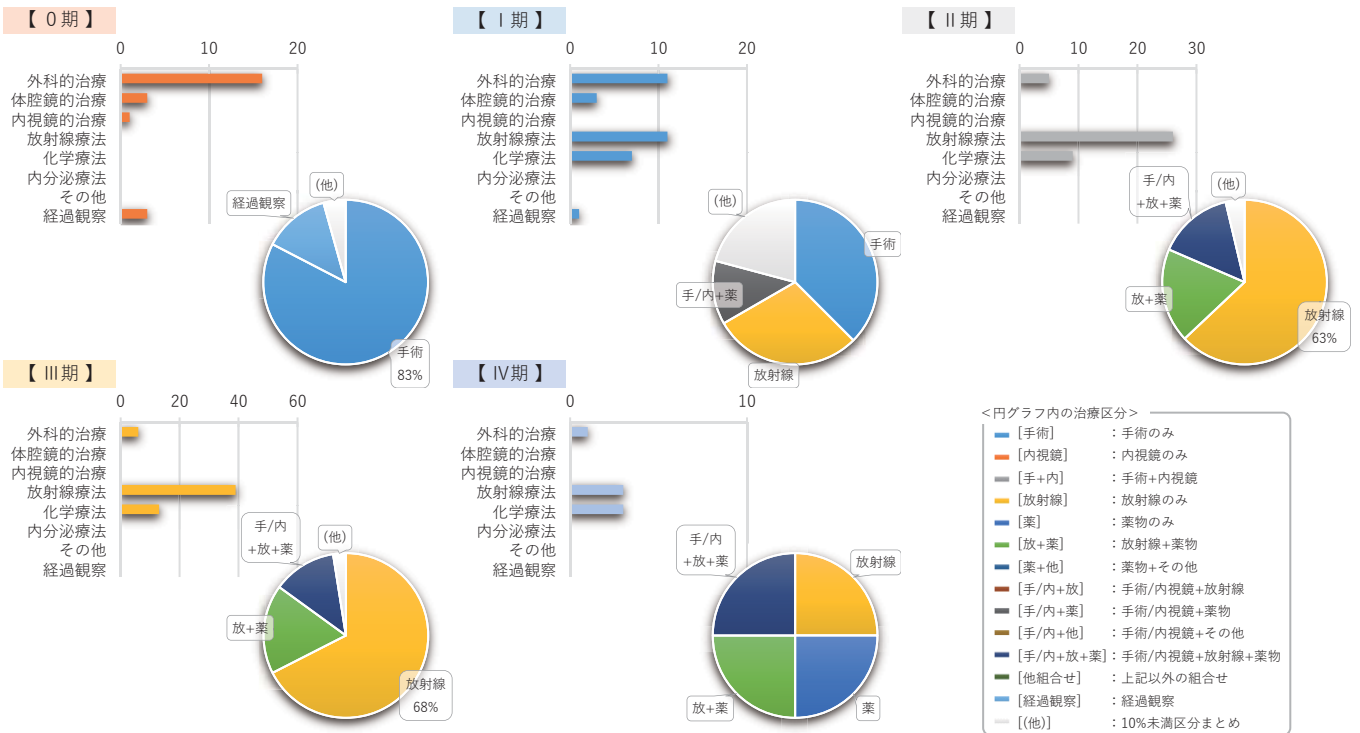
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	23	16	11	12	(1~3)	(1~3)	0	66
割合	34.8%	24.2%	16.7%	18.2%	--	--	--	--



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした

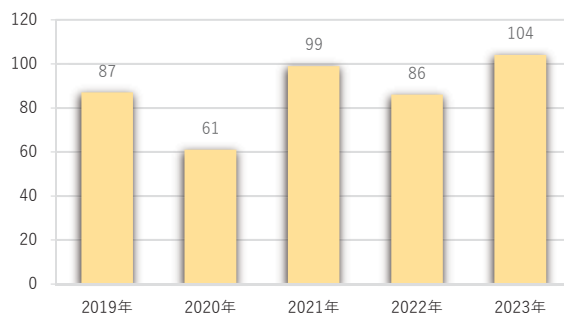


7-8. 部位別：子宮体部

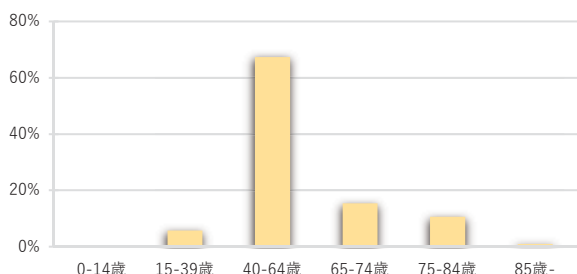
◆ 1. 登録数と男女割合

2023年	登録数
全体	104
男性	--
女性	104

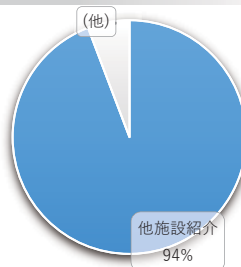
◆ 2. 登録数の年次推移



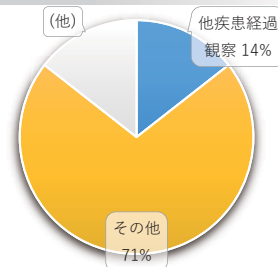
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



◆ 5. 発見経緯別

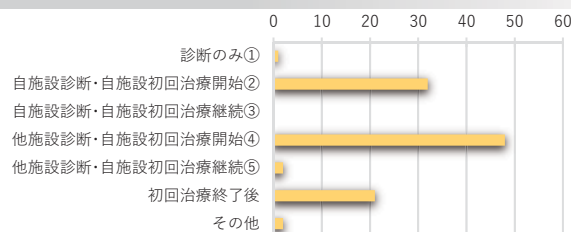


※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

局在コード	部位	登録数
C540	子宮峡部	(1~3)
C541	子宮内膜	89
C542	子宮筋層	(1~3)
C543	子宮底部	0
C548	境界部病巣	0
C549	体部詳細不明	12

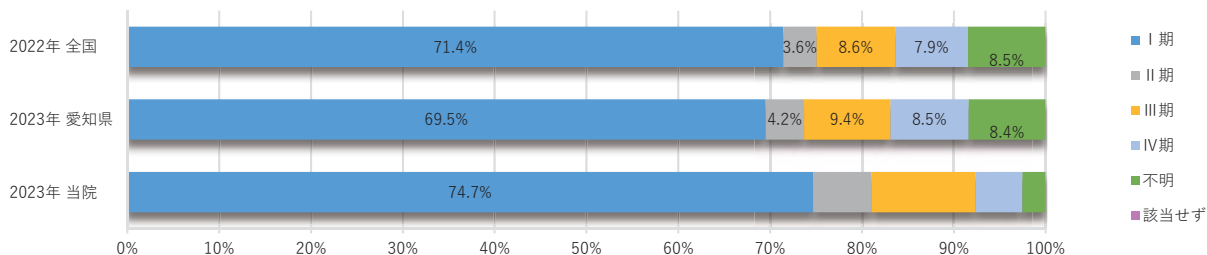
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	82	(78.8%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	33	(31.7%)

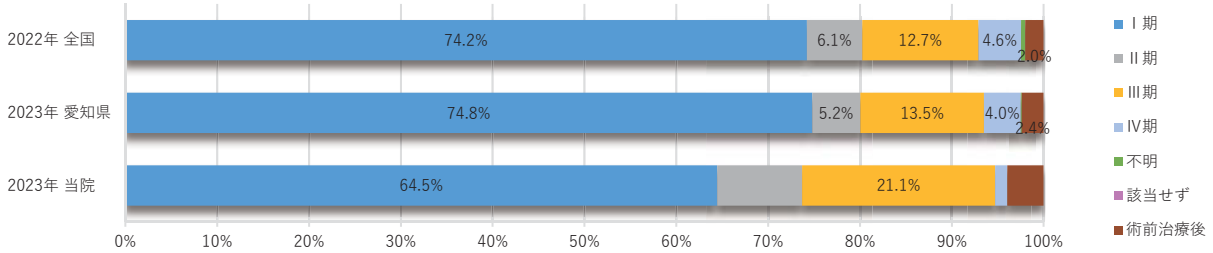
◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 < 症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ >

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	59	(4~6)	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	79
割合	--	74.7%	--	--	--	--	--	--



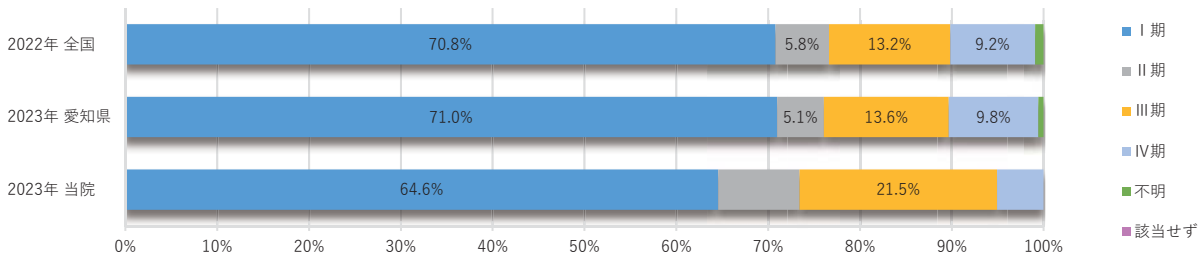
◆ 9. UICC TNM 術後病理学的ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後	合計
件数	--	49	(7~9)	16	(1~3)	0	0	(1~3)	76
割合	--	64.5%	--	21.1%	--	--	--	--	--



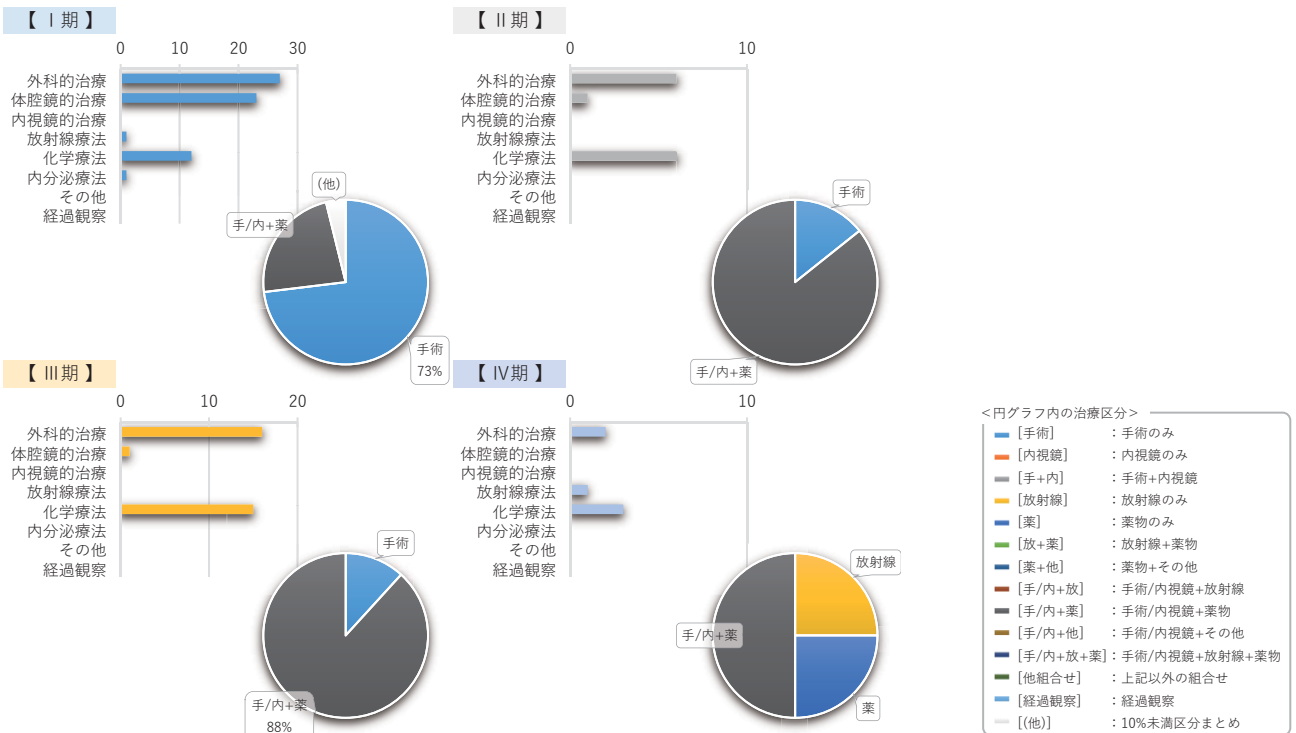
◆ 10. UICC TNM 総合ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、病期分類対象のみ>

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	51	(7~9)	17	(4~6)	0	0	79
割合	--	64.6%	--	21.5%	--	--	--	--



◆ 11. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数

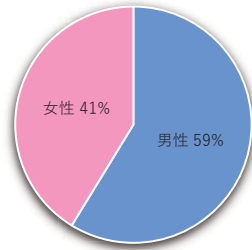
※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした



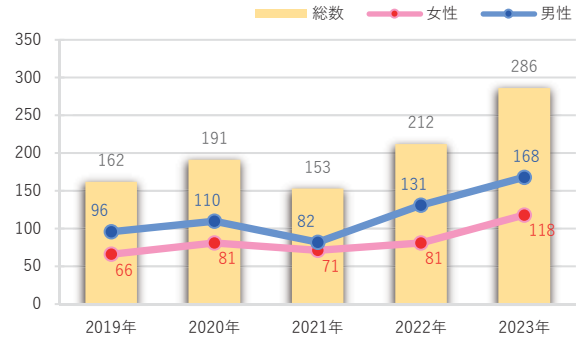
7-9. 部位別：血液腫瘍

◆ 1. 登録数と男女割合

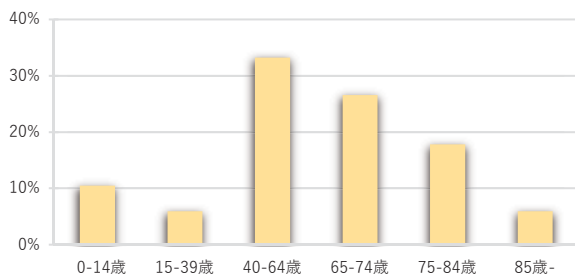
2023年	登録数
全体	286
男性	168
女性	118



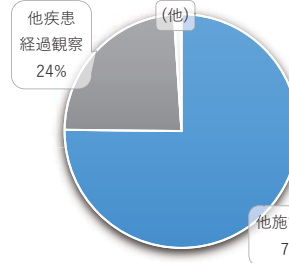
◆ 2. 登録数の年次推移



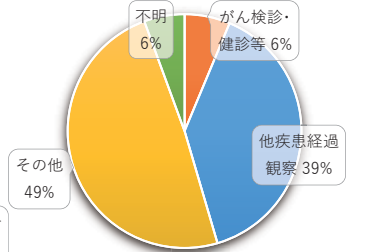
◆ 3. 年齢別



◆ 4. 来院経路別



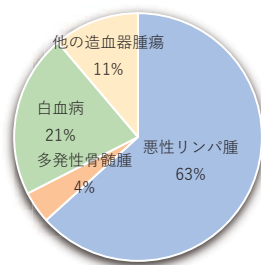
◆ 5. 発見経緯別



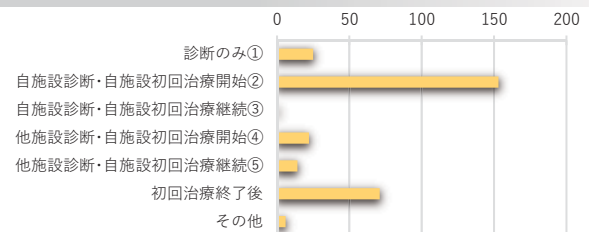
※10件未満となる区分はまとめて「(他)」とした

◆ 6. 詳細部位別

分類	登録数
悪性リンパ腫	181
多発性骨髄腫	12
白血病	61
他の造血器腫瘍	32



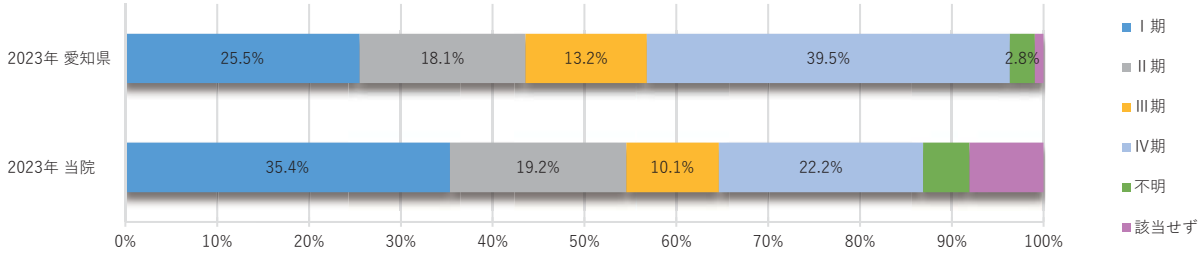
◆ 7. 症例区分別



	登録数	(%)
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例②③④⑤)	190	(66.4%)
自施設でがんが診断された症例 (①②③)	179	(62.6%)

◆ 8. UICC TNM 治療前ステージ別 <症例区分20・30(自施設初回治療症例)、悪性リンパ腫のみ>

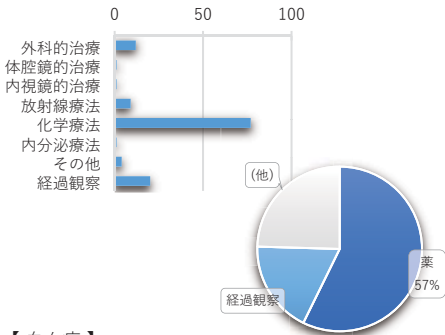
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	--	35	19	10	22	(4~6)	(7~9)	99
割合	--	35.4%	19.2%	10.1%	22.2%	--	--	



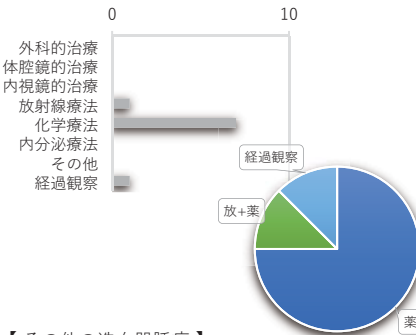
◆ 9. 分類別 治療の件数

※件数は延べ件数。複数の治療を行った場合はどちらの項目でも件数として集計。円グラフでは10%未満の割合となる区分はまとめて「(他)」とした

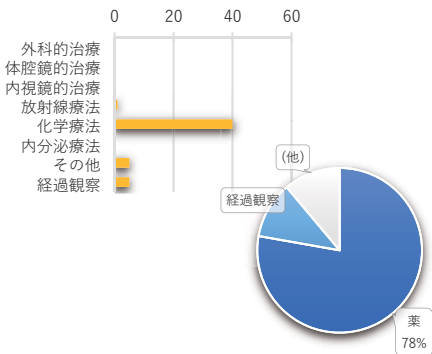
【悪性リンパ腫】



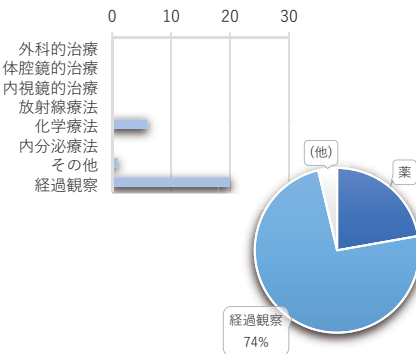
【多発性骨髄腫】



【白血病】



【その他の造血器腫瘍】



- <円グラフ内の治療区分>
- [手術] : 手術のみ
 - [内視鏡] : 内視鏡のみ
 - [手+内] : 手術+内視鏡
 - [放射線] : 放射線のみ
 - [薬] : 薬物のみ
 - [放+薬] : 放射線+薬物
 - [薬+他] : 薬物+その他
 - [手/内+放] : 手術/内視鏡+放射線
 - [手/内+薬] : 手術/内視鏡+薬物
 - [手/内+他] : 手術/内視鏡+その他
 - [手/内+放+薬] : 手術/内視鏡+放射線+薬物
 - [他組合せ] : 上記以外の組合せ
 - [経過観察] : 経過観察
 - [(他)] : 10%未満区分まとめ

集計から読み取れる当院の特徴

今回の2019年から2023年まで5年間の院内がん登録の集計から読み取れる当院の特徴をまとめると以下ようになります。

- 全体の登録数は増加傾向で、2023年は3,600件を上回った。
- 部位別の登録数では、肺、乳房次いで結腸、脳神経が多く、胃は減少傾向である。
- 来院経路が「他施設より紹介」が愛知県全体で69.5%に対して当院は81.6%を占めており、専門的な治療のために他施設から紹介されている。
- 愛知県全体と比較すると他施設で紹介され当院で治療を開始した症例の割合が多い（名大病院 33.6%、愛知県全体 20.0%）。
- 診断時住所は、名古屋市内（39.6%）および県外（17.9%）の割合が高い。
- 年齢別では、愛知県全体および全国と比較すると40～64才の割合が高く、75才以上の割合が低い。ただし、登録数で見ると40～64才、75才以上は増加傾向である。

がん部位別の特徴としては以下が挙げられます。

- 胃：愛知県全体と比較するとⅠ期の割合が高く、内視鏡的治療を積極的に行っている。
- 大腸：Ⅰ期の割合が高く、内視鏡的治療を積極的に行っている。
- 肝臓：化学療法の適応になるⅡ期の割合が高い。
- 肺：Ⅰ期およびⅡ期の割合が高く、外科治療および胸腔鏡手術を積極的に行っている。
- 乳房：Ⅰ期の割合が高く、乳房温存手術を含めた手術療法を積極的に行っている。

- 前立腺：Ⅱ期およびⅢ期の割合が高く、ロボット支援手術システムを含めた手術療法を積極的に行っている。
- 子宮頸部：Ⅰ期の割合が高く、ロボット支援手術システムを含めた手術療法を積極的に行っている。
- 子宮体部：積極的に術後補助薬物療法を行っている。
- 血液腫瘍：化学療法の占める割合が多いが、そのなかには免疫療法が含まれている。

当院の特徴を見ることで、優れているところはさらに伸ばし、補うべきところはどこかを考える基礎材料になると考えています。

